

屋久島町 男女共同参画に関する
中学生・高校生アンケート調査
【結果報告書】

令和7年度

屋久島町

【目次】

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的.....	1
2 調査の実施要領.....	1
3 調査結果利用上の注意.....	1
第2章 調査結果	2
【基本属性】	2
1 男女平等について.....	4
2 普段の生活について.....	14
3 学校生活について.....	25
4 男女の関係や男女共同参画の推進について.....	33
5 心と体に関する悩みについて.....	53
6 屋久島町の男女共同参画について.....	55

第1章 調査の概要

1 調査の目的

「第2次屋久島町男女共同参画基本計画」の策定にあたり、地域の男女共同参画をめぐる実態を把握し計画策定の基礎資料として活用することを目的として、町内の中学生・高校生を対象に男女共同参画に関する考え方等をうかがう「屋久島町 男女共同参画に関する中学生・高校生アンケート調査」を実施しました。

2 調査の実施要領

調査種別	調査対象者	調査手法	回答件数
中学生・高校生 調査	屋久島町内の中学校、高等学校に 在籍する全生徒 合計 485名 内訳：中学生 310名 高校生 175名	学校を通じた回答 依頼及びWEBペ ージでの調査	全体 73.2% (355件/485件) 中学生 87.1% 高校生 48.6%

3 調査結果利用上の注意

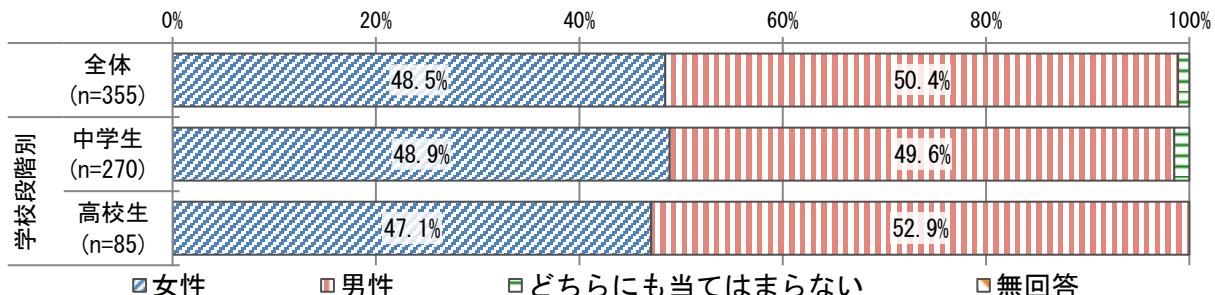
- 回答割合は百分比の小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
- 2つ以上回答が可能な設問（複数回答設問）の場合、その回答割合の合計は100%を超える場合があります。
- グラフでは、3.0%未満の項目についてはラベルを省略している場合があります。
- 集計表については、全体（単純集計）と比較して、10ポイント以上高いものを赤で、10ポイント以上低いものを青で、それぞれ塗りつぶしています。

第2章 調査結果

【基本属性】

F 1 あなたの性別を教えてください。(1つ選択)

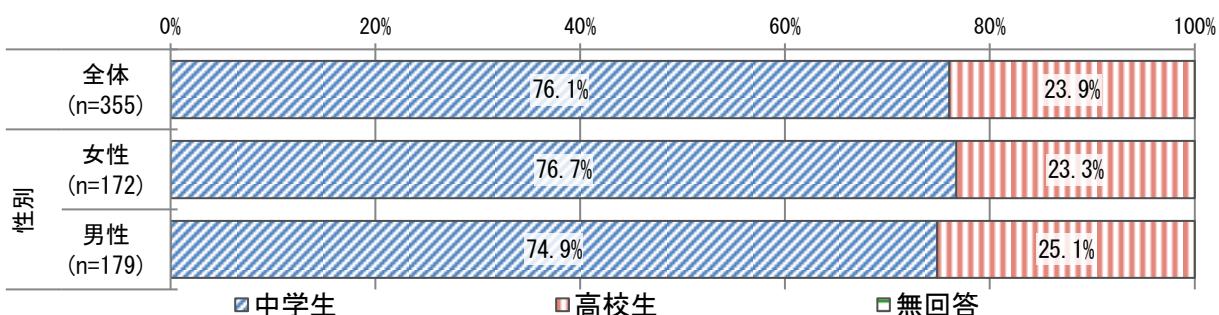
「女性」が48.5%、「男性」が50.4%、「どちらにも当てはまらない」が1.1%となっています。



	単純集計	学校段階別		
		全体	中学生	高校生
サンプル数		355	270	85
		100.0%	100.0%	100.0%
女性		172	132	40
		48.5%	48.9%	47.1%
男性		179	134	45
		50.4%	49.6%	52.9%
どちらにも当てはまらない		4	4	0
		1.1%	1.5%	0.0%
無回答		0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%

F 2 あなたは中学生・高校生のどちらですか。(1つ選択)

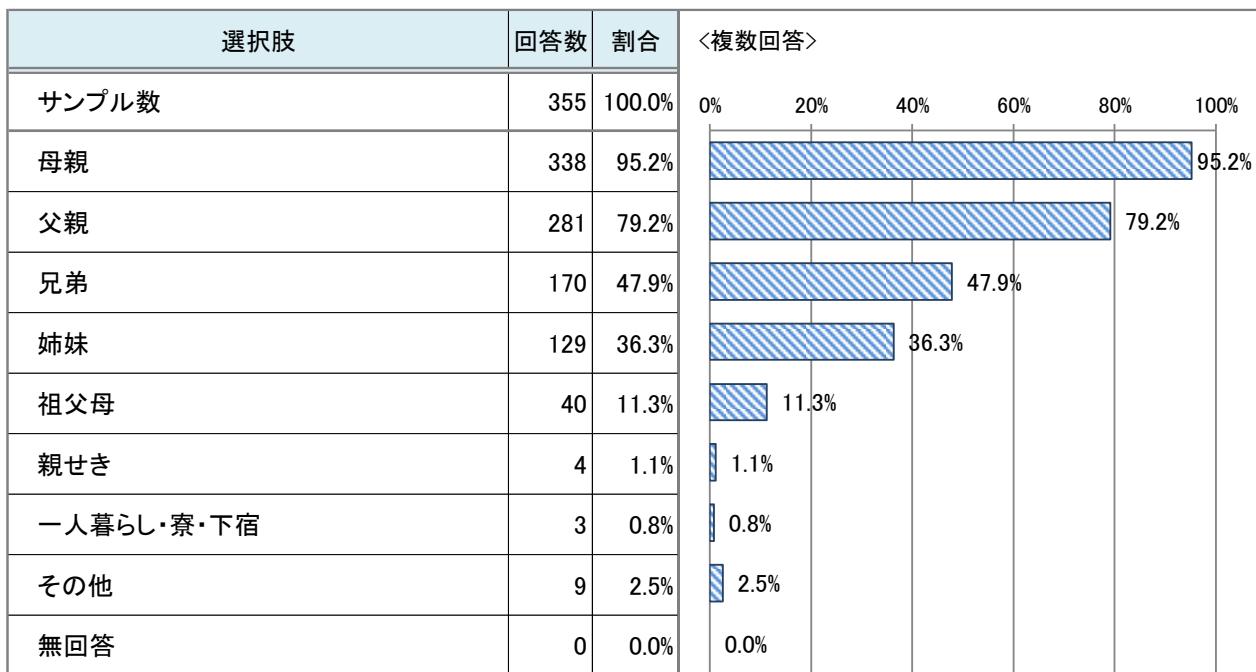
「中学生」が76.1%、「高校生」が23.9%となっています。



	単純集計	性別		
		全体	女性	男性
サンプル数		355	172	179
		100.0%	100.0%	100.0%
中学生		270	132	134
		76.1%	76.7%	74.9%
高校生		85	40	45
		23.9%	23.3%	25.1%
無回答		0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%

F 3 あなたが一緒に住んでいる人を教えてください。(あてはまるものすべてを選択)

「母親」が95.2%と最も高く、次いで「父親」が79.2%、「兄弟」が47.9%となっています。



	単純集計		性別		学校段階別	
	全体	女性	男性	あてはまらない	中学生	高校生
サンプル数	355	172	179	4	270	85
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
母親	338	166	168	4	264	74
	95.2%	96.5%	93.9%	100.0%	97.8%	87.1%
父親	281	136	143	2	222	59
	79.2%	79.1%	79.9%	50.0%	82.2%	69.4%
兄弟	170	77	91	2	140	30
	47.9%	44.8%	50.8%	50.0%	51.9%	35.3%
姉妹	129	71	55	3	110	19
	36.3%	41.3%	30.7%	75.0%	40.7%	22.4%
祖父母	40	14	26	0	31	9
	11.3%	8.1%	14.5%	0.0%	11.5%	10.6%
親せき	4	0	4	0	1	3
	1.1%	0.0%	2.2%	0.0%	0.4%	3.5%
一人暮らし・寮・下宿	3	3	0	0	0	3
	0.8%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	3.5%
その他	9	3	5	1	6	3
	2.5%	1.7%	2.8%	25.0%	2.2%	3.5%
無回答	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

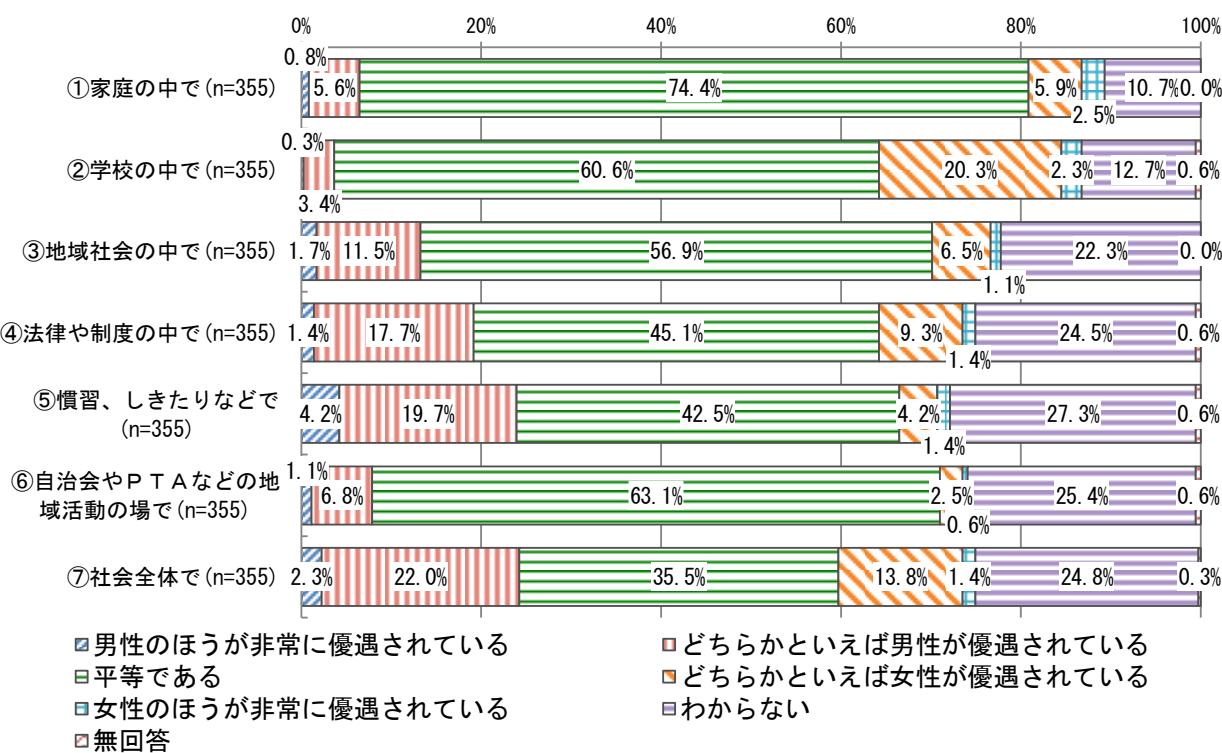
1 男女平等について

問1 あなたは次の各分野について、男女の地位は平等になっていると思いますか。
(①～⑦のそれぞれについて1つ選択)

すべての項目で「平等である」が最も高くなっています。

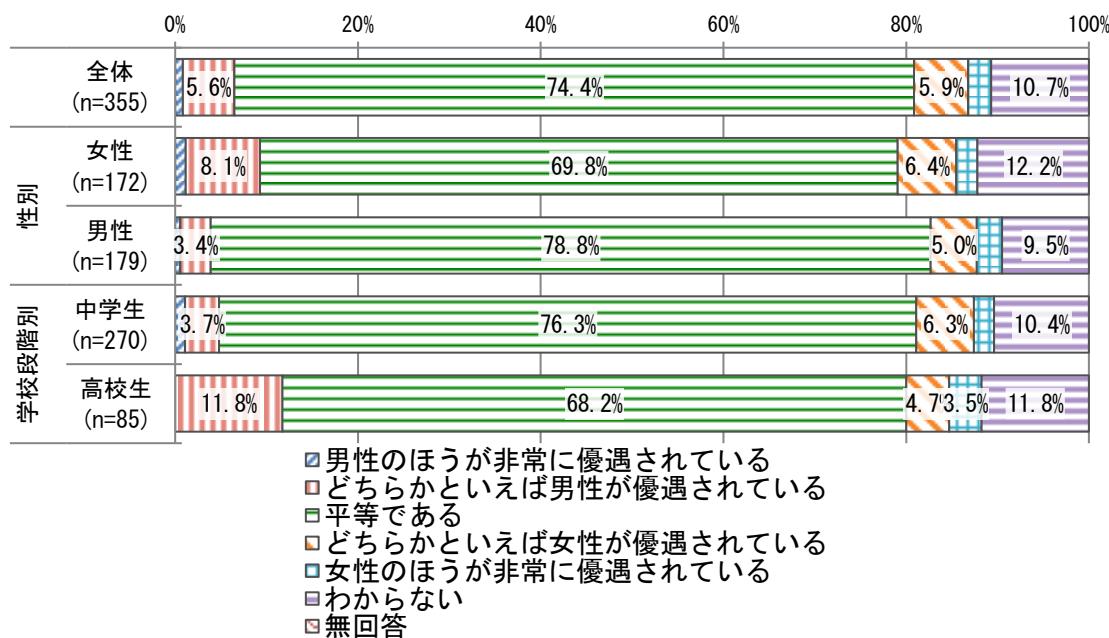
「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」の合計を見ると、「⑦社会全体で」で24.3%と最も高く、次いで「⑤慣習、しきたりなどで」で23.9%、「④法律や制度の中で」で19.1%となっています。

「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性が優遇されている」の合計を見ると、「②学校の中で」で22.6%と最も高く、次いで「⑦社会全体で」で15.2%、「④法律や制度の中で」で10.7%となっています。



問1① 家庭の中で

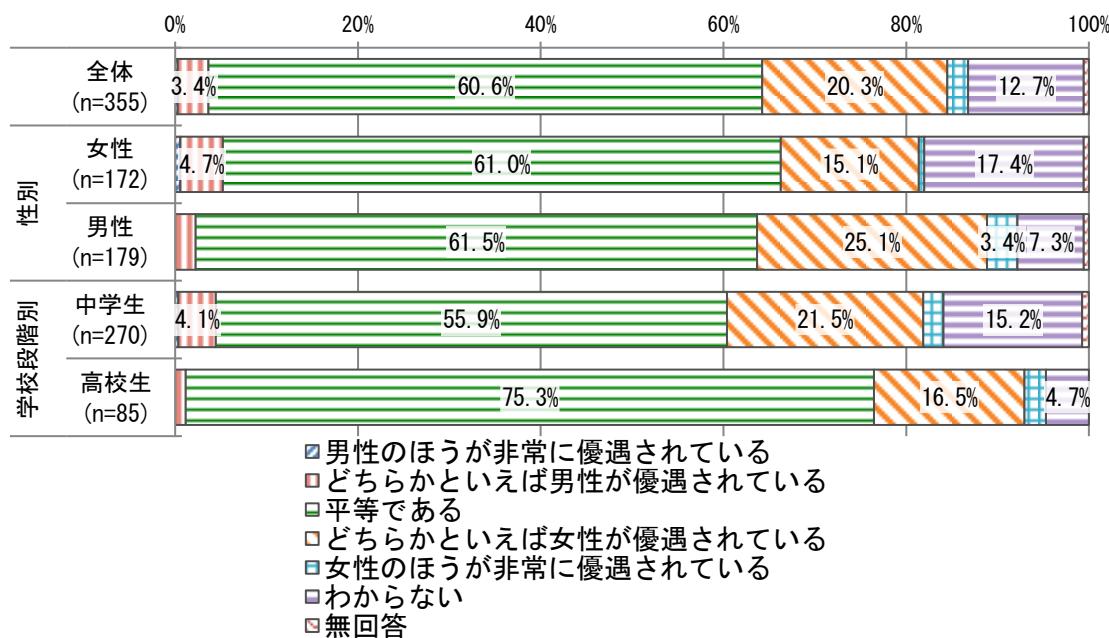
「平等である」が74.4%と最も高く、次いで「わからない」が10.7%、「どちらかといえば女性が優遇されている」が5.9%となっています。



	単純集計	性別		学校段階別			
		全体	女性	男性	あてはまらない	中学生	高校生
サンプル数		355	172	179	4	270	85
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
男性のほうが非常に優遇されている		3	2	1	0	3	0
		0.8%	1.2%	0.6%	0.0%	1.1%	0.0%
どちらかといえば男性が優遇されている		20	14	6	0	10	10
		5.6%	8.1%	3.4%	0.0%	3.7%	11.8%
平等である		264	120	141	3	206	58
		74.4%	69.8%	78.8%	75.0%	76.3%	68.2%
どちらかといえば女性が優遇されている		21	11	9	1	17	4
		5.9%	6.4%	5.0%	25.0%	6.3%	4.7%
女性のほうが非常に優遇されている		9	4	5	0	6	3
		2.5%	2.3%	2.8%	0.0%	2.2%	3.5%
わからない		38	21	17	0	28	10
		10.7%	12.2%	9.5%	0.0%	10.4%	11.8%
無回答		0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問1② 学校の中で

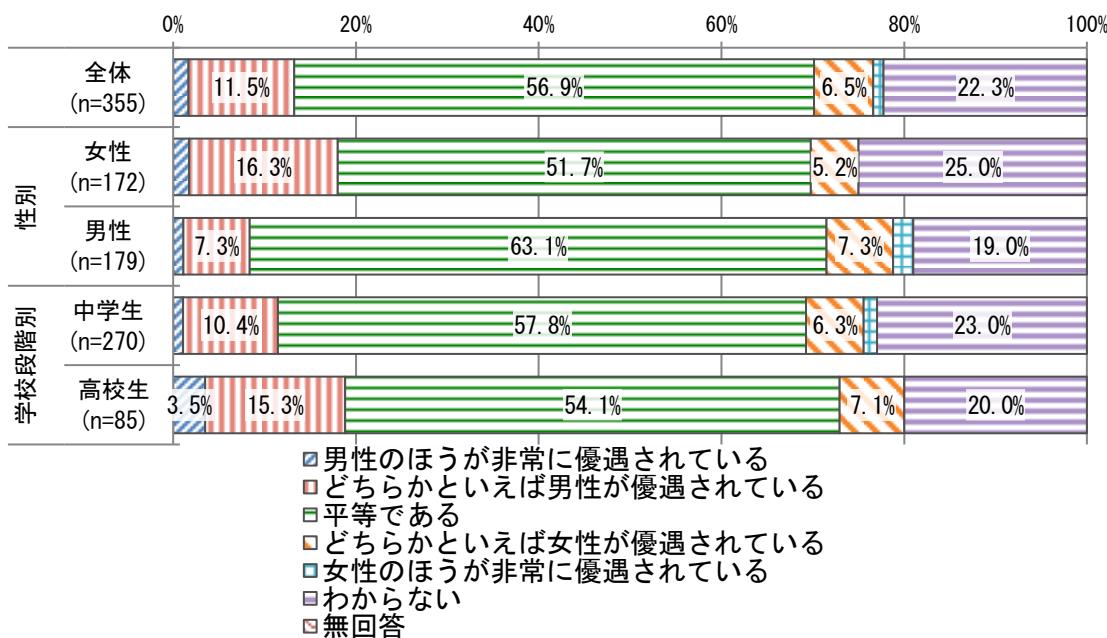
「平等である」が 60.6%と最も高く、次いで「どちらかといえば女性が優遇されている」が 20.3%、「わからない」が 12.7%となっています。



	単純集計	性別		学校段階別	
		全体	女性	男性	あてはまらない
		中学生	高校生		
サンプル数		355	172	179	4
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
男性のほうが非常に優遇されている		1	1	0	0
		0.3%	0.6%	0.0%	0.0%
どちらかといえば男性が優遇されている		12	8	4	0
		3.4%	4.7%	2.2%	0.0%
平等である		215	105	110	0
		60.6%	61.0%	61.5%	0.0%
どちらかといえば女性が優遇されている		72	26	45	1
		20.3%	15.1%	25.1%	25.0%
女性のほうが非常に優遇されている		8	1	6	1
		2.3%	0.6%	3.4%	25.0%
わからない		45	30	13	2
		12.7%	17.4%	7.3%	50.0%
無回答		2	1	1	0
		0.6%	0.6%	0.6%	0.0%

問1③ 地域社会の中で

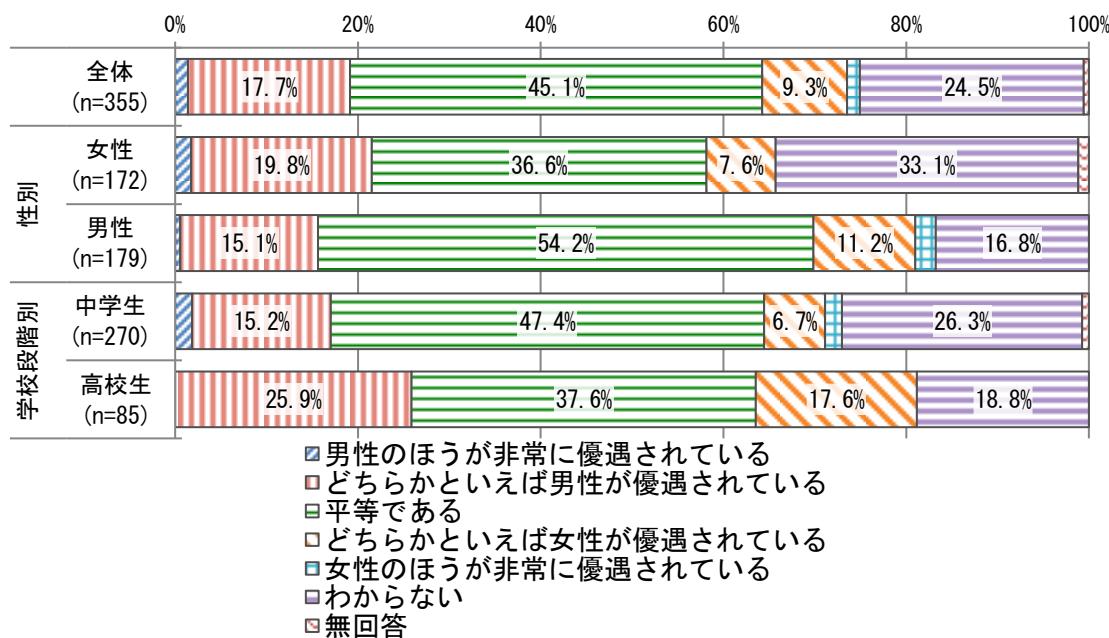
「平等である」が56.9%と最も高く、次いで「わからない」が22.3%、「どちらかといえば男性が優遇されている」が11.5%となっています。



	単純集計	性別		学校段階別			
		全体	女性	男性	あてはまらない	中学生	高校生
サンプル数	355	172	179	4	270	85	
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
男のほうが非常に優遇されている	6	3	2	1	3	3	
	1.7%	1.7%	1.1%	25.0%	1.1%	3.5%	
どちらかといえば男性が優遇されている	41	28	13	0	28	13	
	11.5%	16.3%	7.3%	0.0%	10.4%	15.3%	
平等である	202	89	113	0	156	46	
	56.9%	51.7%	63.1%	0.0%	57.8%	54.1%	
どちらかといえば女性が優遇されている	23	9	13	1	17	6	
	6.5%	5.2%	7.3%	25.0%	6.3%	7.1%	
女性のほうが非常に優遇されている	4	0	4	0	4	0	
	1.1%	0.0%	2.2%	0.0%	1.5%	0.0%	
わからない	79	43	34	2	62	17	
	22.3%	25.0%	19.0%	50.0%	23.0%	20.0%	
無回答	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

問1④ 法律や制度の中で

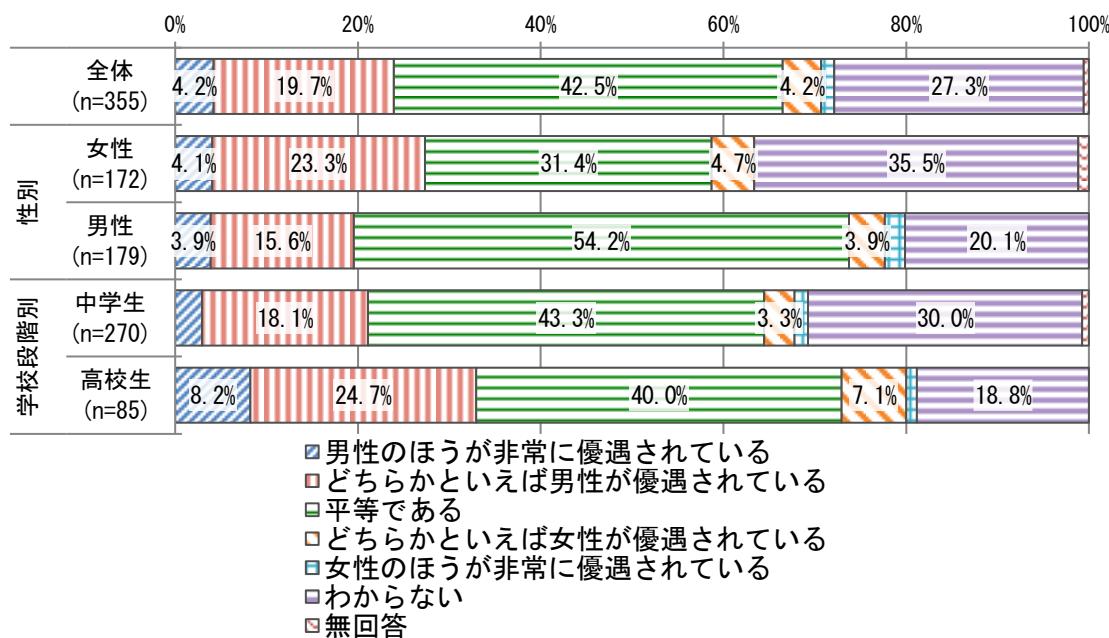
「平等である」が45.1%と最も高く、次いで「わからない」が24.5%、「どちらかといえば男性が優遇されている」が17.7%となっています。



	単純集計	性別		学校段階別			
		全体	女性	男性	あてはまらない	中学生	高校生
サンプル数	355	172	179	4	270	85	
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
男性のほうが非常に優遇されている	5 1.4%	3 1.7%	1 0.6%	1 25.0%	5 1.9%	0 0.0%	
どちらかといえば男性が優遇されている	63 17.7%	34 19.8%	27 15.1%	2 50.0%	41 15.2%	22 25.9%	
平等である	160 45.1%	63 36.6%	97 54.2%	0 0.0%	128 47.4%	32 37.6%	
どちらかといえば女性が優遇されている	33 9.3%	13 7.6%	20 11.2%	0 0.0%	18 6.7%	15 17.6%	
女性のほうが非常に優遇されている	5 1.4%	0 0.0%	4 2.2%	1 25.0%	5 1.9%	0 0.0%	
わからない	87 24.5%	57 33.1%	30 16.8%	0 0.0%	71 26.3%	16 18.8%	
無回答	2 0.6%	2 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.7%	0 0.0%	

問1⑤ 慣習、しきたりなどで

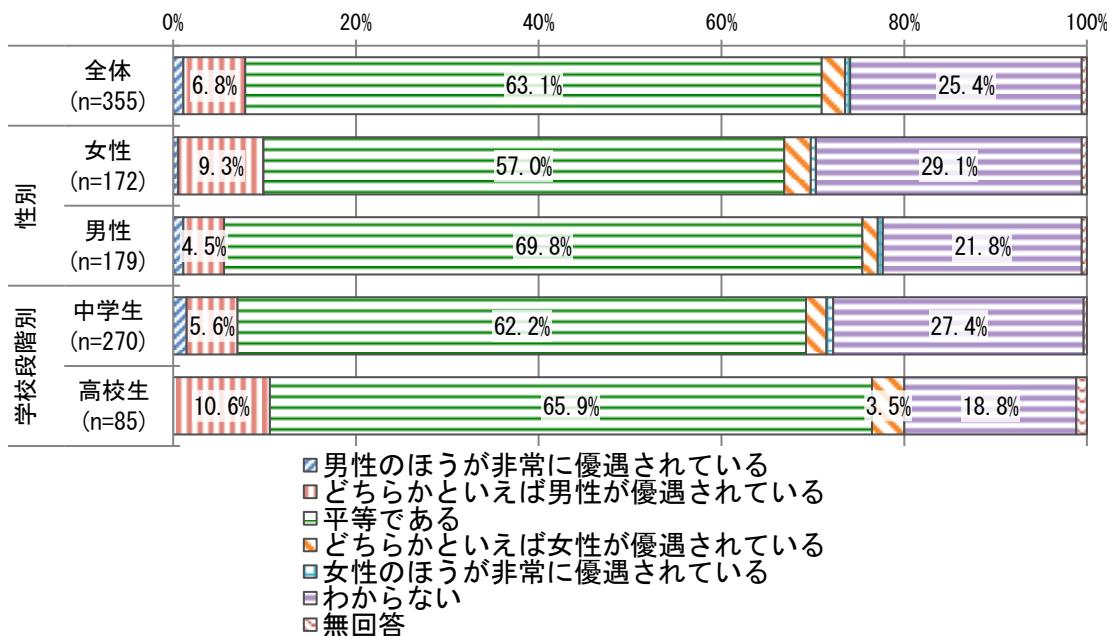
「平等である」が42.5%と最も高く、次いで「わからない」が27.3%、「どちらかといえば男性が優遇されている」が19.7%となっています。



	単純集計	性別		学校段階別		
		女性	男性	あてはまらない	中学生	高校生
サンプル数	355	172	179	4	270	85
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
男性のほうが非常に優遇されている	15 4.2%	7 4.1%	7 3.9%	1 25.0%	8 3.0%	7 8.2%
どちらかといえば男性が優遇されている	70 19.7%	40 23.3%	28 15.6%	2 50.0%	49 18.1%	21 24.7%
平等である	151 42.5%	54 31.4%	97 54.2%	0 0.0%	117 43.3%	34 40.0%
どちらかといえば女性が優遇されている	15 4.2%	8 4.7%	7 3.9%	0 0.0%	9 3.3%	6 7.1%
女性のほうが非常に優遇されている	5 1.4%	0 0.0%	4 2.2%	1 25.0%	4 1.5%	1 1.2%
わからない	97 27.3%	61 35.5%	36 20.1%	0 0.0%	81 30.0%	16 18.8%
無回答	2 0.6%	2 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.7%	0 0.0%

問1⑥ 自治会やPTAなどの地域活動の場で

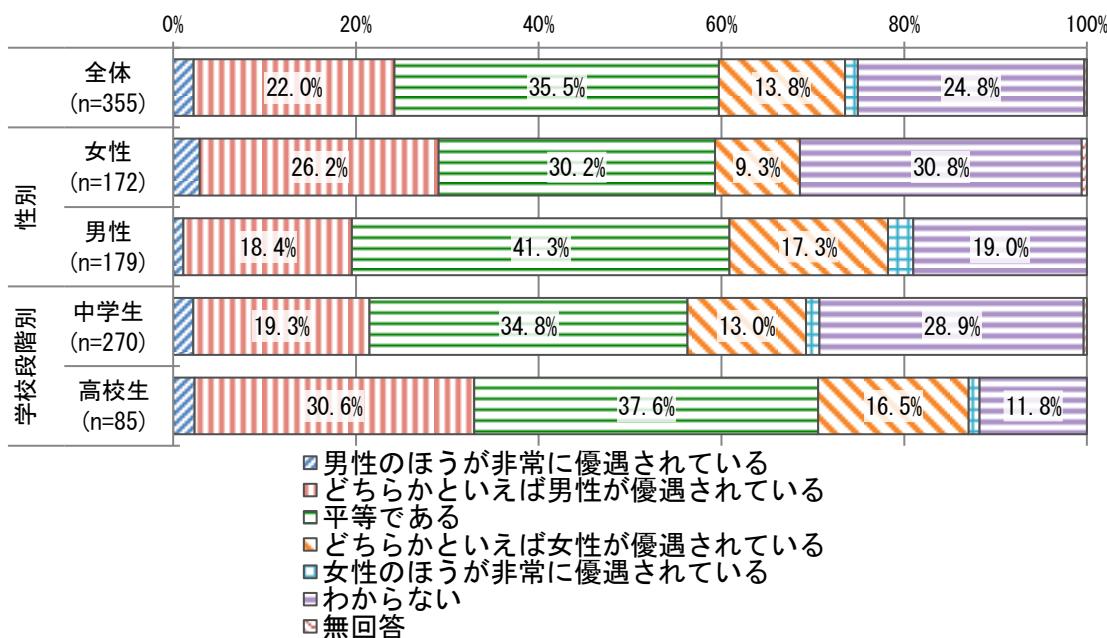
「平等である」が63.1%と最も高く、次いで「わからない」が25.4%、「どちらかといえば男性が優遇されている」が6.8%となっています。



	単純集計	性別		学校段階別			
		全体	女性	男性	あてはまらない	中学生	高校生
サンプル数		355	172	179	4	270	85
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
男のほうが非常に優遇されている		4	1	2	1	4	0
		1.1%	0.6%	1.1%	25.0%	1.5%	0.0%
どちらかといえば男性が優遇されている		24	16	8	0	15	9
		6.8%	9.3%	4.5%	0.0%	5.6%	10.6%
平等である		224	98	125	1	168	56
		63.1%	57.0%	69.8%	25.0%	62.2%	65.9%
どちらかといえば女性が優遇されている		9	5	3	1	6	3
		2.5%	2.9%	1.7%	25.0%	2.2%	3.5%
女のほうが非常に優遇されている		2	1	1	0	2	0
		0.6%	0.6%	0.6%	0.0%	0.7%	0.0%
わからない		90	50	39	1	74	16
		25.4%	29.1%	21.8%	25.0%	27.4%	18.8%
無回答		2	1	1	0	1	1
		0.6%	0.6%	0.6%	0.0%	0.4%	1.2%

問1⑦ 社会全体で

「平等である」が35.5%と最も高く、次いで「わからない」が24.8%、「どちらかといえば男性が優遇されている」が22.0%となっています。

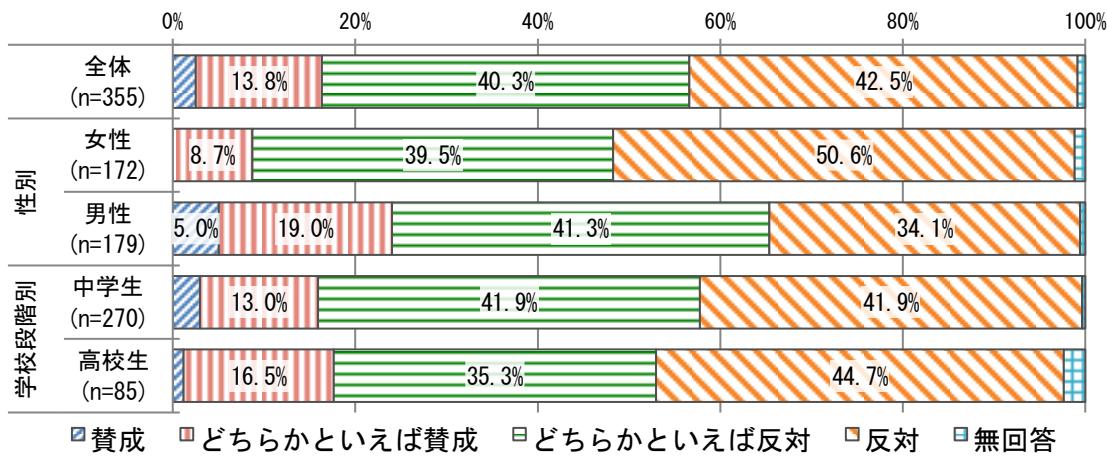


	単純集計	性別		学校段階別			
		全体	女性	男性	あてはまらない	中学生	高校生
		355	172	179	4	270	85
サンプル数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
男性のほうが非常に優遇されている	8 2.3%	5 2.9%	2 1.1%	1 25.0%	6 2.2%	2 2.4%	
どちらかといえば男性が優遇されている	78 22.0%	45 26.2%	33 18.4%	0 0.0%	52 19.3%	26 30.6%	
平等である	126 35.5%	52 30.2%	74 41.3%	0 0.0%	94 34.8%	32 37.6%	
どちらかといえば女性が優遇されている	49 13.8%	16 9.3%	31 17.3%	2 50.0%	35 13.0%	14 16.5%	
女性のほうが非常に優遇されている	5 1.4%	0 0.0%	5 2.8%	0 0.0%	4 1.5%	1 1.2%	
わからない	88 24.8%	53 30.8%	34 19.0%	1 25.0%	78 28.9%	10 11.8%	
無回答	1 0.3%	1 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.4%	0 0.0%	

問2

「男は仕事・女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこの考え方についてどう思いますか。(1つ選択)

「賛成」が2.5%、「どちらかといえば賛成」が13.8%、「どちらかといえば反対」が40.3%、「反対」が42.5%となっています。

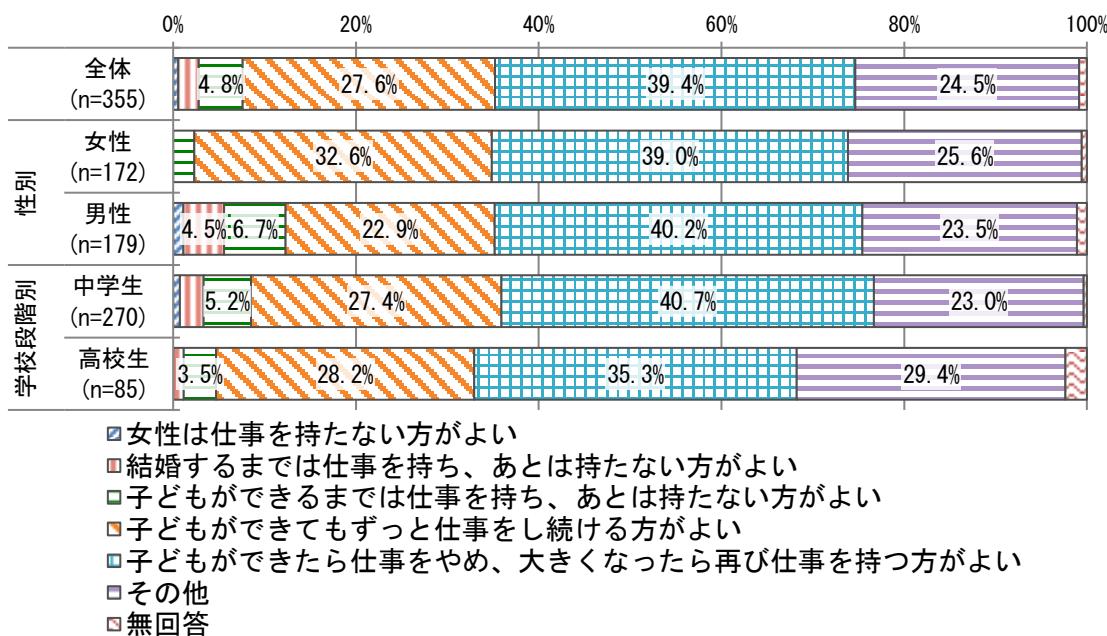


	単純集計	性別		学校段階別			
		全般	女性	男性	あてはまらない	中学生	高校生
サンプル数		355	172	179	4	270	85
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
賛成		9	0	9	0	8	1
		2.5%	0.0%	5.0%	0.0%	3.0%	1.2%
どちらかといえば賛成		49	15	34	0	35	14
		13.8%	8.7%	19.0%	0.0%	13.0%	16.5%
どちらかといえば反対		143	68	74	1	113	30
		40.3%	39.5%	41.3%	25.0%	41.9%	35.3%
反対		151	87	61	3	113	38
		42.5%	50.6%	34.1%	75.0%	41.9%	44.7%
無回答		3	2	1	0	1	2
		0.8%	1.2%	0.6%	0.0%	0.4%	2.4%

問3

あなたは、一般的に女性が仕事をもつことについて、どのように考えますか。（1つ選択）

「子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事を持つ方がよい」が 39.4%と最も高く、次いで「子どもができるまでは仕事を持つ、あとは持たない方がよい」が 27.6%、「その他」が 24.5%となっています。



		単純集計		性別		学校段階別	
		全体会員数	女性会員数	女性	男性	あてはまらない	中学生
				355	172	179	4
サンプル数		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
女性は仕事を持たない方がよい		2	0	2	0	2	0
結婚するまでは仕事を持つ、あとは持たない方がよい		8	0	8	0	7	1
子どもができるまでは仕事を持つ、あとは持たない方がよい		17	4	12	1	14	3
子どもができるまでもずっと仕事をし続ける方がよい		98	56	41	1	74	24
子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事を持つ方がよい		140	67	72	1	110	30
その他		87	44	42	1	62	25
無回答		3	1	2	0	1	2

■ その他の内容

● 家族や個人の状況に合わせるのがよい（同回答多数）

● 個人の自由でいい（同回答多数）

● 特にない（同回答多数）

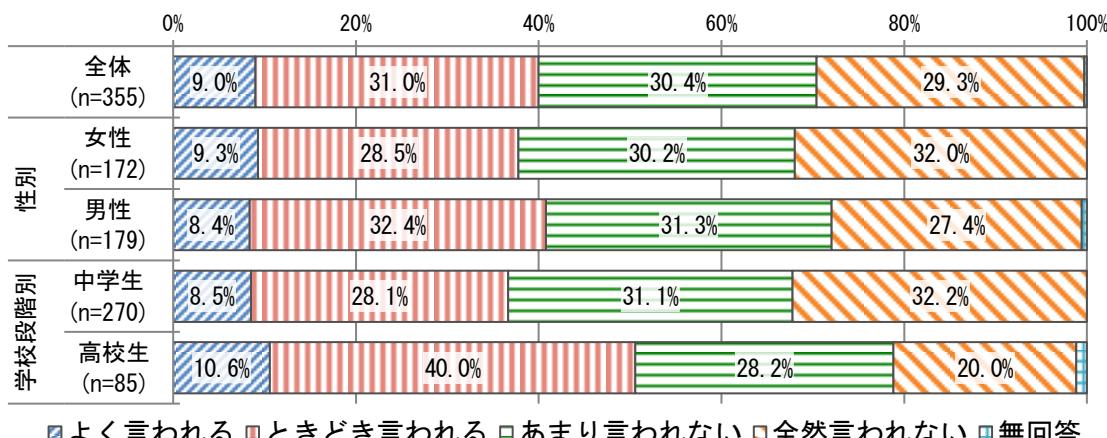
◇ 性別ではなく能力や本人の選択肢、家族との話し合い、経済状況が重要である。

◇ 育休を活用する。

2 普段の生活について

問4 あなたは大人の人に「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」のように言われたことがありますか。(1つ選択)

「よく言われる」が9.0%、「ときどき言われる」が31.0%、「あまり言われない」が30.4%、「全然言われない」が29.3%となっています。

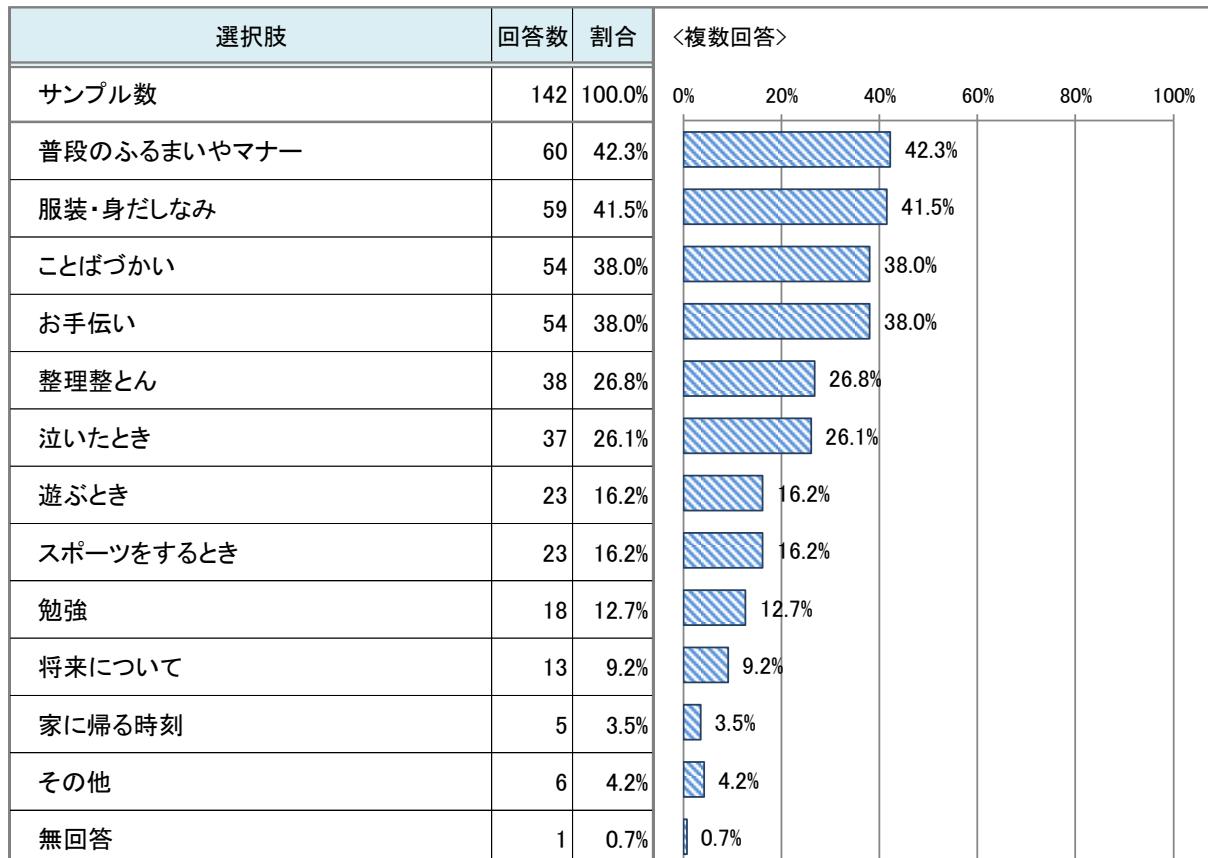


	単純集計	性別			学校段階別	
		全體	女性	男性	あてはまらない	中学生
サンプル数	355 100.0%	172 100.0%	179 100.0%	4 100.0%	270 100.0%	85 100.0%
よく言われる	32 9.0%	16 9.3%	15 8.4%	1 25.0%	23 8.5%	9 10.6%
ときどき言われる	110 31.0%	49 28.5%	58 32.4%	3 75.0%	76 28.1%	34 40.0%
あまり言われない	108 30.4%	52 30.2%	56 31.3%	0 0.0%	84 31.1%	24 28.2%
全然言われない	104 29.3%	55 32.0%	49 27.4%	0 0.0%	87 32.2%	17 20.0%
無回答	1 0.3%	0 0.0%	1 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.2%

問5～問7は、問4で「1. よく言われる」または「2. ときどき言われる」と答えた方に聞きます。

問5 どんなことについて言われましたか。(あてはまるものすべてを選択)

「普段のふるまいやマナー」が 42.3%と最も高く、次いで「服装・身だしなみ」が 41.5%、「ことばづかい」と「お手伝い」が 38.0%となっています。



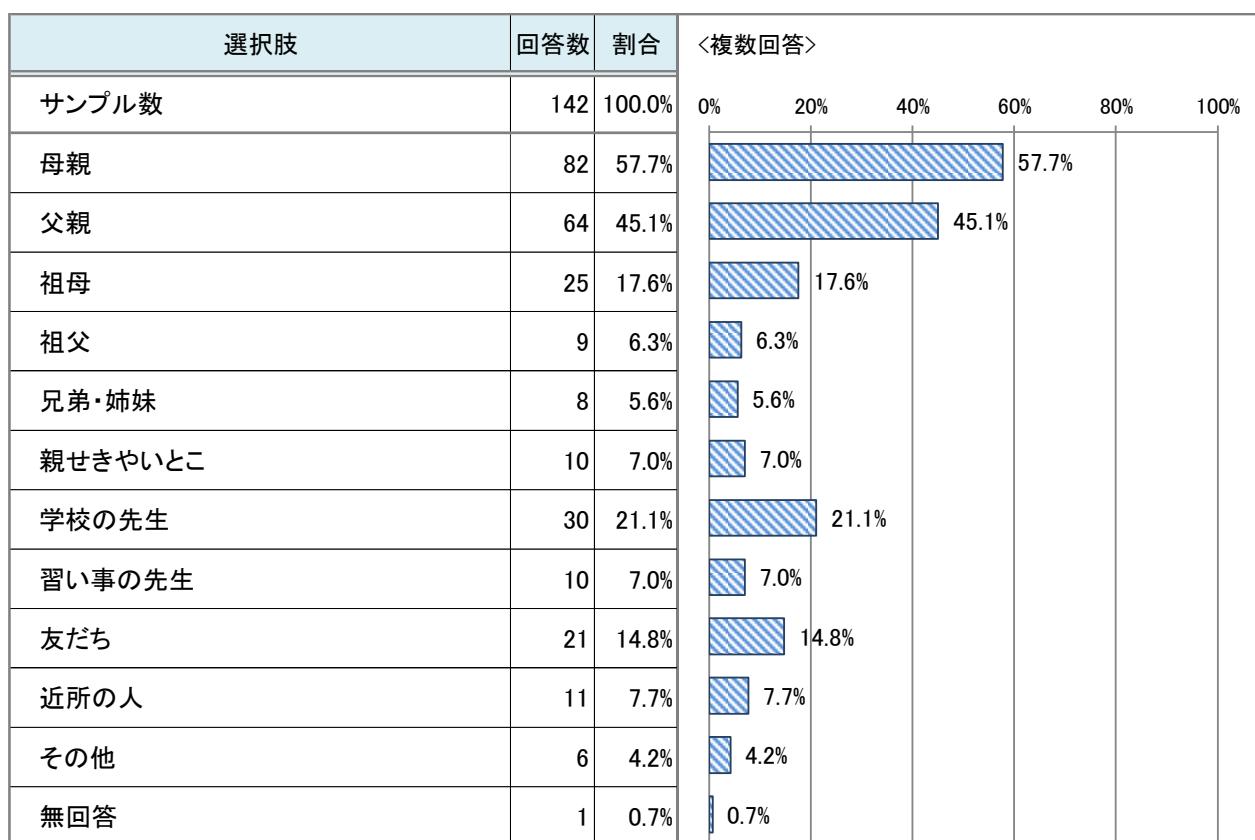
	単純集計	性別		学校段階別			
		全般	女性	男性	あてはまらない	中学生	高校生
サンプル数	142	65	73	4	99	43	
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ことばづかい	54	43	9	2	33	21	
	38.0%	66.2%	12.3%	50.0%	33.3%	48.8%	
服装・身だしなみ	59	43	14	2	37	22	
	41.5%	66.2%	19.2%	50.0%	37.4%	51.2%	
普段のふるまいやマナー	60	40	19	1	34	26	
	42.3%	61.5%	26.0%	25.0%	34.3%	60.5%	
勉強	18	6	12	0	12	6	
	12.7%	9.2%	16.4%	0.0%	12.1%	14.0%	
遊ぶとき	23	9	14	0	17	6	
	16.2%	13.8%	19.2%	0.0%	17.2%	14.0%	
お手伝い	54	27	24	3	37	17	
	38.0%	41.5%	32.9%	75.0%	37.4%	39.5%	
整理整とん	38	33	3	2	26	12	
	26.8%	50.8%	4.1%	50.0%	26.3%	27.9%	
家に帰る時刻	5	4	1	0	3	2	
	3.5%	6.2%	1.4%	0.0%	3.0%	4.7%	
スポーツをするとき	23	4	19	0	15	8	
	16.2%	6.2%	26.0%	0.0%	15.2%	18.6%	
将来について	13	4	9	0	11	2	
	9.2%	6.2%	12.3%	0.0%	11.1%	4.7%	
泣いたとき	37	6	30	1	27	10	
	26.1%	9.2%	41.1%	25.0%	27.3%	23.3%	
その他	6	3	2	1	5	1	
	4.2%	4.6%	2.7%	25.0%	5.1%	2.3%	
無回答	1	0	1	0	1	0	
	0.7%	0.0%	1.4%	0.0%	1.0%	0.0%	

■その他の内容

人の付き合いや交際について
怒られているとき
給食の時に男子は食えといわれた
座り方
服を選ぶとき

問6 それは誰に言われましたか。(あてはまるものすべてを選択)

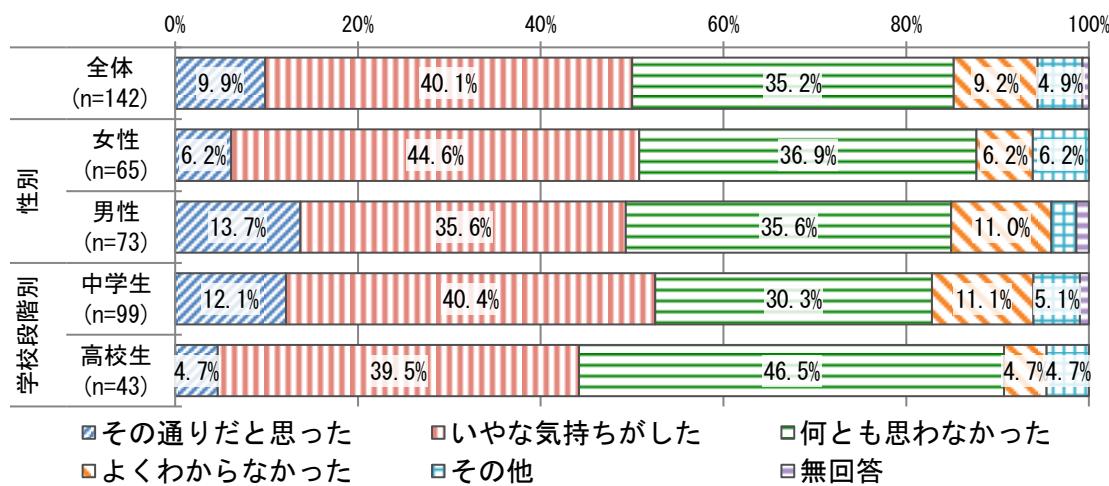
「母親」が 57.7%と最も高く、次いで「父親」が 45.1%、「学校の先生」が 21.1%となっています。



	単純集計	性別			学校段階別		
		全体	女性	男性	あてはまらない	中学生	高校生
		142	65	73	4	99	43
サンプル数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
母親	82 57.7%	44 67.7%	36 49.3%	2 50.0%	56 56.6%	26 60.5%	
父親	64 45.1%	24 36.9%	39 53.4%	1 25.0%	48.5%	16 37.2%	
祖母	25 17.6%	19 29.2%	5 6.8%	1 25.0%	18.2%	7 16.3%	
祖父	9 6.3%	3 4.6%	5 6.8%	1 25.0%	7.1%	2 4.7%	
兄弟・姉妹	8 5.6%	3 4.6%	3 4.1%	2 50.0%	6.1%	2 4.7%	
親せきやいとこ	10 7.0%	6 9.2%	3 4.1%	1 25.0%	5.1%	5 11.6%	
学校の先生	30 21.1%	12 18.5%	17 23.3%	1 25.0%	19.2%	11 25.6%	
習い事の先生	10 7.0%	3 4.6%	7 9.6%	0 0.0%	7.1%	3 7.0%	
友だち	21 14.8%	14 21.5%	5 6.8%	2 50.0%	15.2%	6 14.0%	
近所の人	11 7.7%	6 9.2%	5 6.8%	0 0.0%	6.1%	5 11.6%	
その他	6 4.2%	1 1.5%	5 6.8%	0 0.0%	5.1%	1 2.3%	
無回答	1 0.7%	0 0.0%	1 1.4%	0 0.0%	1	0 0.0%	

問7 あなたはその時どんな気持ちがしましたか。(1つ選択)

「いやな気持ちがした」が40.1%と最も高く、次いで「何とも思わなかった」が35.2%、「その通りだと思った」が9.9%となっています。



		単純集計		性別		学校段階別				
		全体	女性	男性	あてはまらない		中学生	高校生		
					142	65	73	4	99	43
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
サンプル数		142	65	73	4	99	43			
その通りだと思った		14	4	10	0	12	2			
		9.9%	6.2%	13.7%	0.0%	12.1%	4.7%			
いやな気持ちがした		57	29	26	2	40	17			
		40.1%	44.6%	35.6%	50.0%	40.4%	39.5%			
何とも思わなかった		50	24	26	0	30	20			
		35.2%	36.9%	35.6%	0.0%	30.3%	46.5%			
よくわからなかった		13	4	8	1	11	2			
		9.2%	6.2%	11.0%	25.0%	11.1%	4.7%			
その他		7	4	2	1	5	2			
		4.9%	6.2%	2.7%	25.0%	5.1%	4.7%			
無回答		1	0	1	0	1	0			
		0.7%	0.0%	1.4%	0.0%	1.0%	0.0%			

■ その他の内容

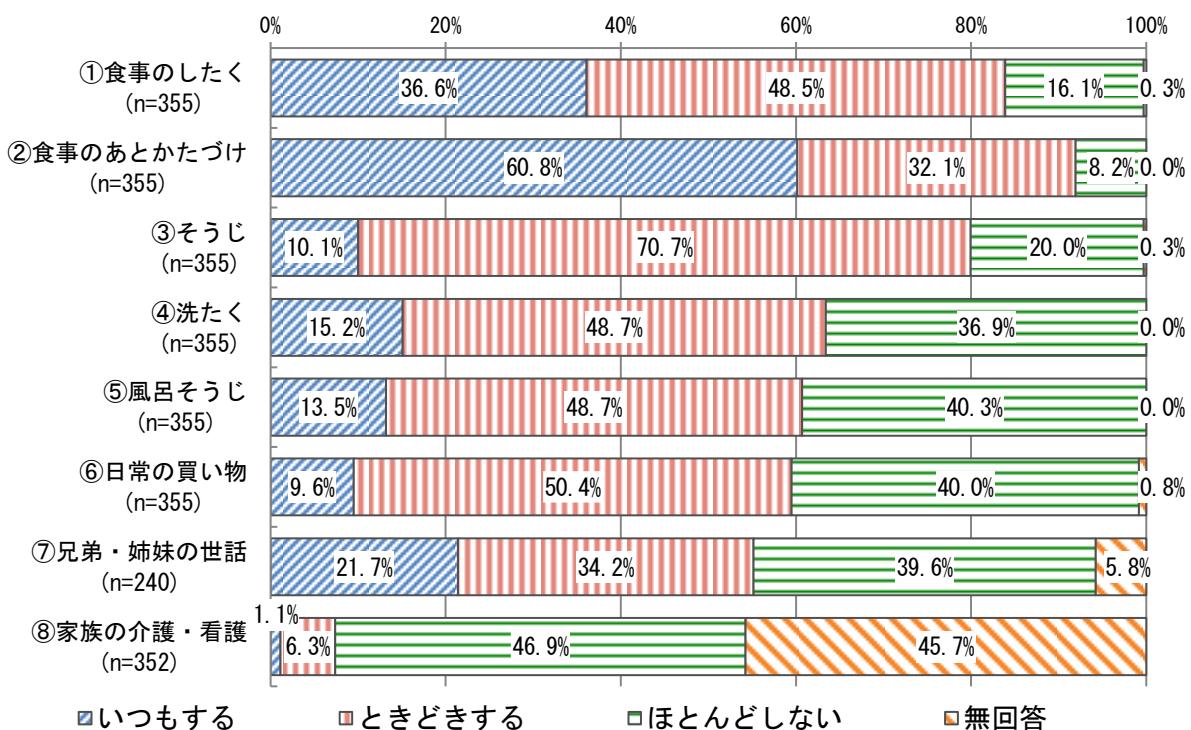
- いやな気分になった (同回答多数)
- 別にどうでもいいと思った (同回答多数)

問8

あなたは、以下の家事などを普段どのくらい行っていますか。
(①～⑧のそれぞれについて1つ選択)

「いつもする」の割合は『②食事のあとかたづけ』が60.8%、「ときどきする」の割合は『③そうじ』が70.7%、「ほとんどしない」の割合は「⑧家族の介護・看護」が46.9%と、それぞれ最も高くなっています。

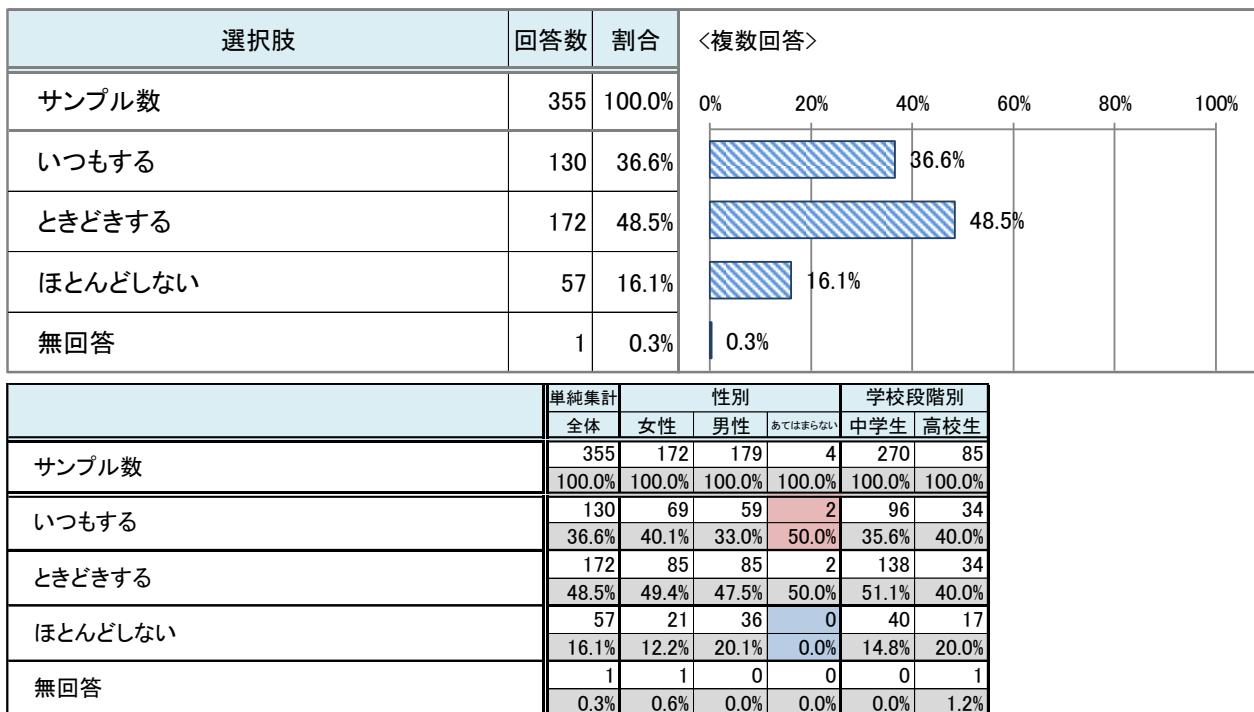
「いつもする」と「ときどきする」の合計についてみると、『②食事のあとかたづけ』が92.9%と最も高く、次いで『①食事のしたく』が85.1%、『③そうじ』が80.8%となっています。



※「⑦兄弟・姉妹の世話」は兄弟・姉妹がいる人のみ、「⑧家族の介護・看護」はひとり暮らし以外の人を対象として集計。

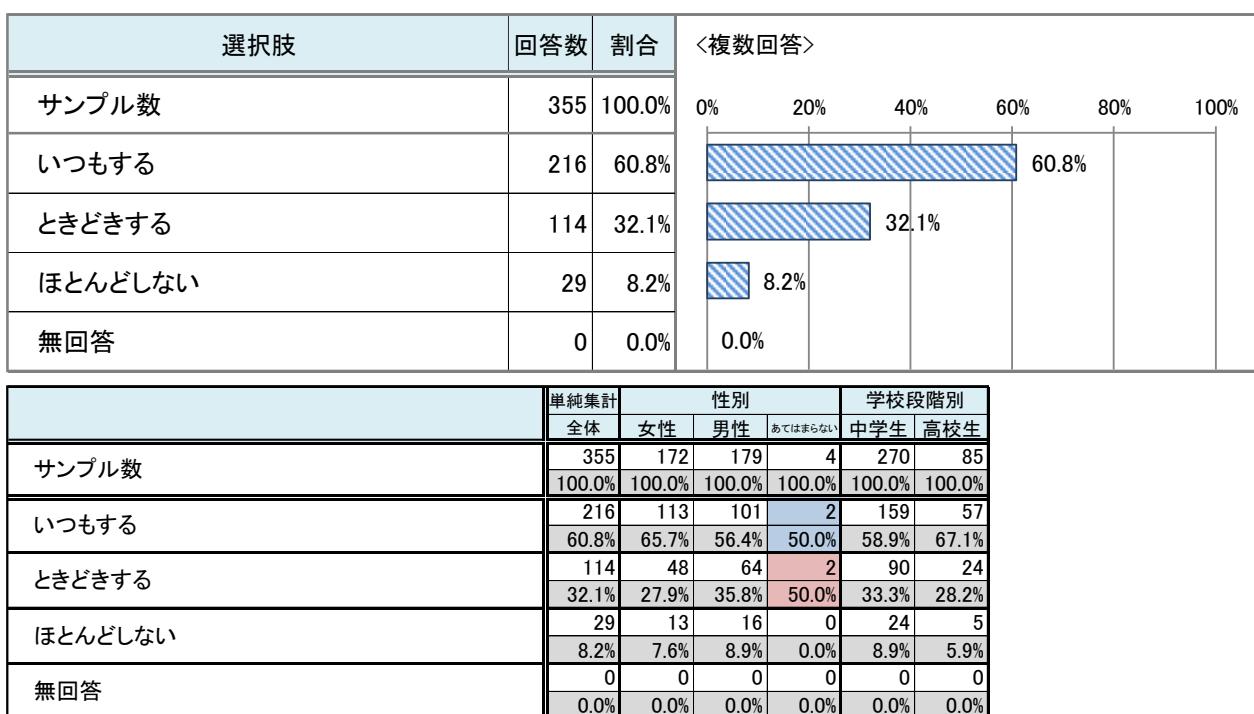
問8① 食事のしたく

「いつもする」が36.6%、「ときどきする」が48.5%、「ほとんどしない」が16.1%となっています。



問8② 食事のあとかたづけ

「いつもする」が60.8%、「ときどきする」が32.1%、「ほとんどしない」が8.2%となっています。



問8③ そうじ

「いつもする」が10.1%、「ときどきする」が70.7%、「ほとんどしない」が20.0%となっています。

選択肢	回答数	割合	<複数回答>					
			0%	20%	40%	60%	80%	100%
サンプル数	355	100.0%						
いつもする	36	10.1%	10.1%					
ときどきする	251	70.7%		70.7%				
ほとんどしない	71	20.0%			20.0%			
無回答	1	0.3%	0.3%					

	単純集計	性別		学校段階別		
		女性	男性	あてはまらない	中学生	高校生
サンプル数	355	172	179	4	270	85
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
いつもする	36	19	17	0	26	10
	10.1%	11.0%	9.5%	0.0%	9.6%	11.8%
ときどきする	251	124	123	4	198	53
	70.7%	72.1%	68.7%	100.0%	73.3%	62.4%
ほとんどしない	71	30	41	0	48	23
	20.0%	17.4%	22.9%	0.0%	17.8%	27.1%
無回答	1	0	1	0	0	1
	0.3%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	1.2%

問8④ 洗たく

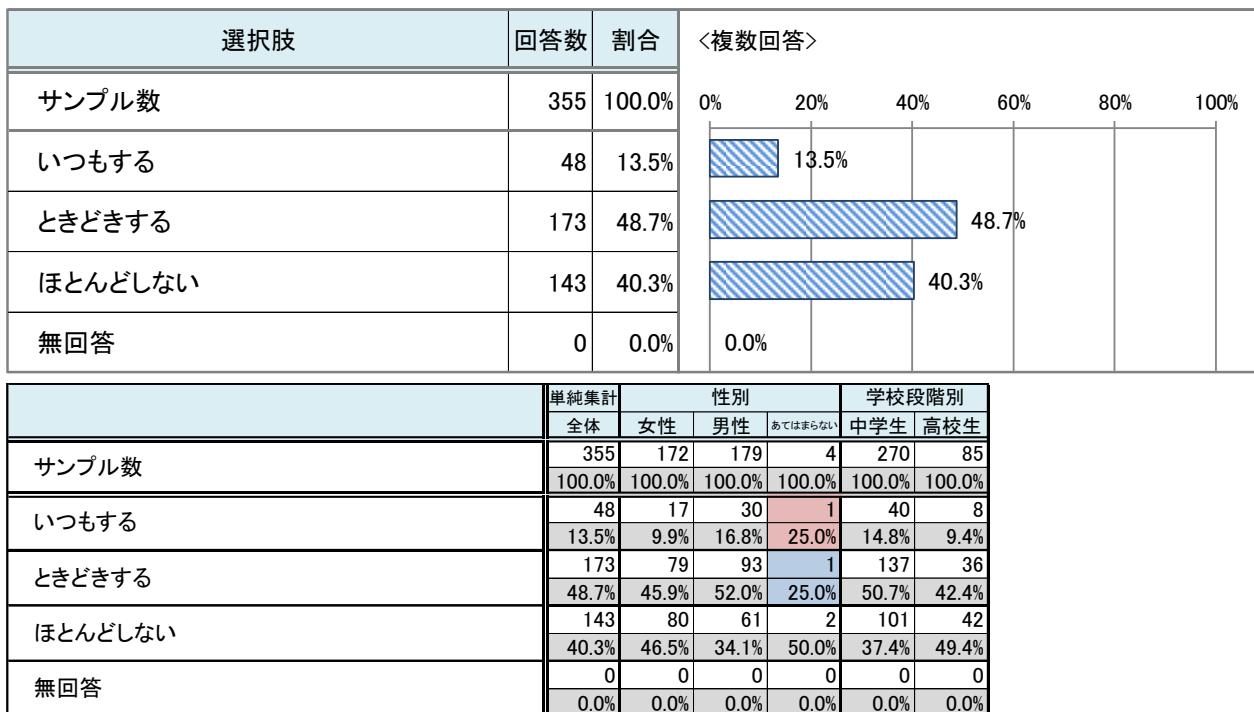
「いつもする」が15.2%、「ときどきする」が48.7%、「ほとんどしない」が36.9%となっています。

選択肢	回答数	割合	<複数回答>					
			0%	20%	40%	60%	80%	100%
サンプル数	355	100.0%						
いつもする	54	15.2%	15.2%					
ときどきする	173	48.7%		48.7%				
ほとんどしない	131	36.9%			36.9%			
無回答	0	0.0%	0.0%					

	単純集計	性別		学校段階別		
		女性	男性	あてはまらない	中学生	高校生
サンプル数	355	172	179	4	270	85
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
いつもする	54	33	21	0	45	9
	15.2%	19.2%	11.7%	0.0%	16.7%	10.6%
ときどきする	173	85	86	2	131	42
	48.7%	49.4%	48.0%	50.0%	48.5%	49.4%
ほとんどしない	131	54	75	2	96	35
	36.9%	31.4%	41.9%	50.0%	35.6%	41.2%
無回答	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

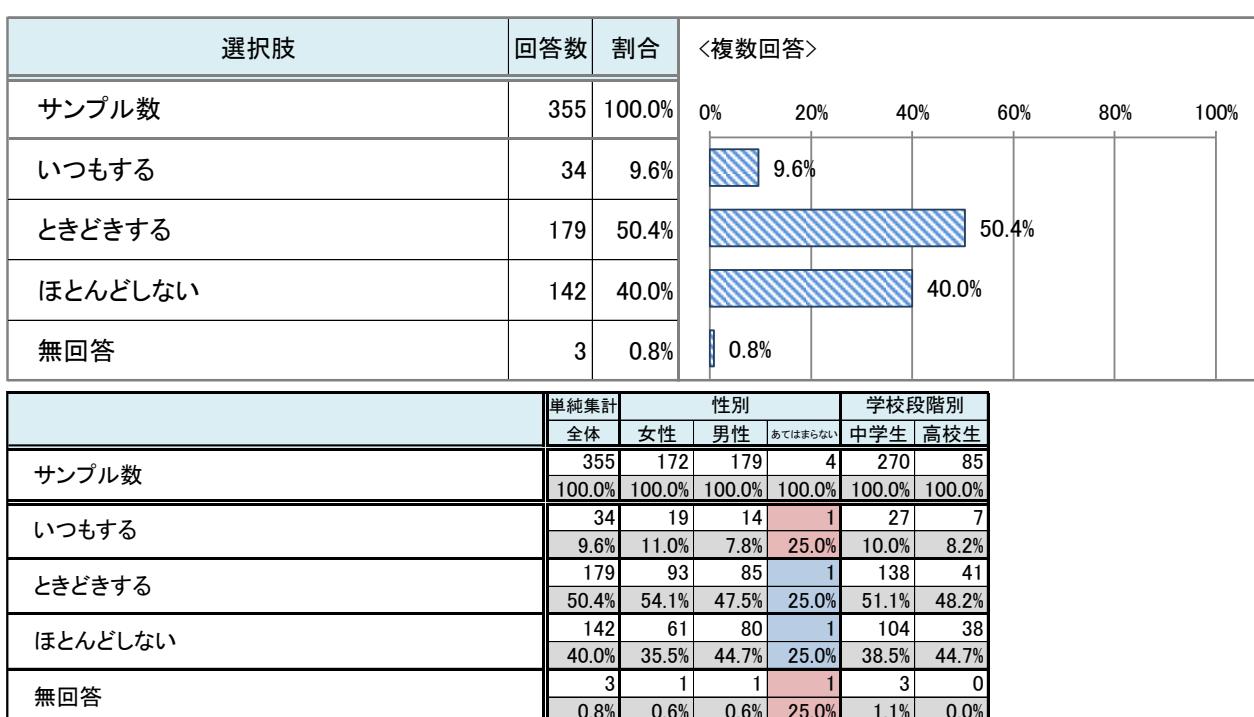
問8⑤ 風呂そうじ

「いつもする」が13.5%、「ときどきする」が48.7%、「ほとんどしない」が40.3%となっています。



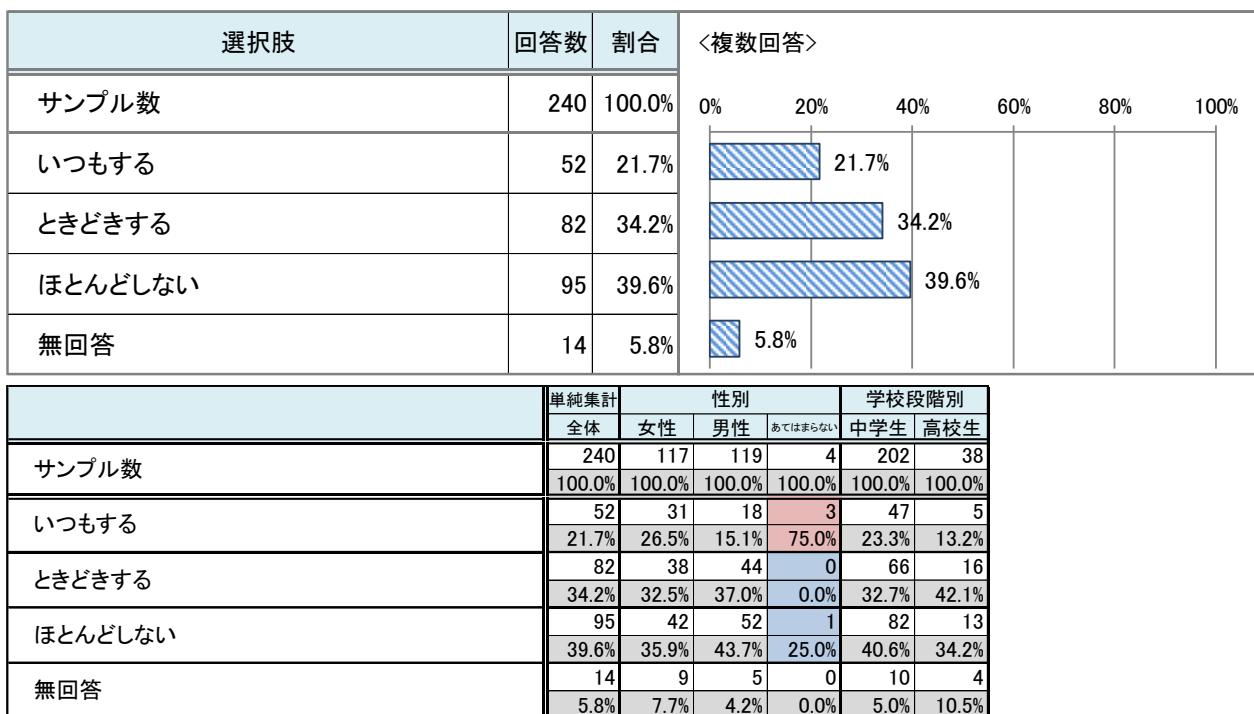
問8⑥ 日常の買い物

「いつもする」が9.6%、「ときどきする」が50.4%、「ほとんどしない」が40.0%となっています。



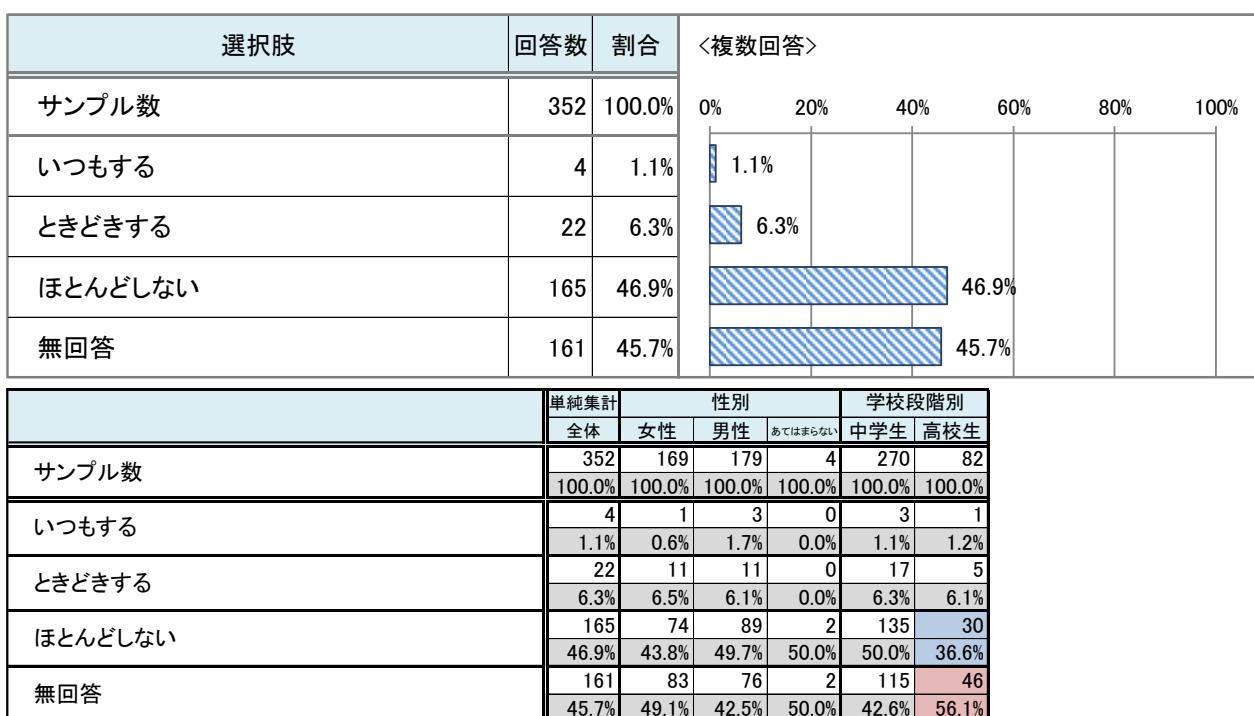
問8⑦ 兄弟・姉妹の世話（兄弟・姉妹がいる人のみを対象）

「いつもする」が21.7%、「ときどきする」が34.2%、「ほとんどしない」が39.6%となっています。



問8⑧ 家族の介護・看護（介護が必要な人がいる場合 一人暮らし以外の人を対象）

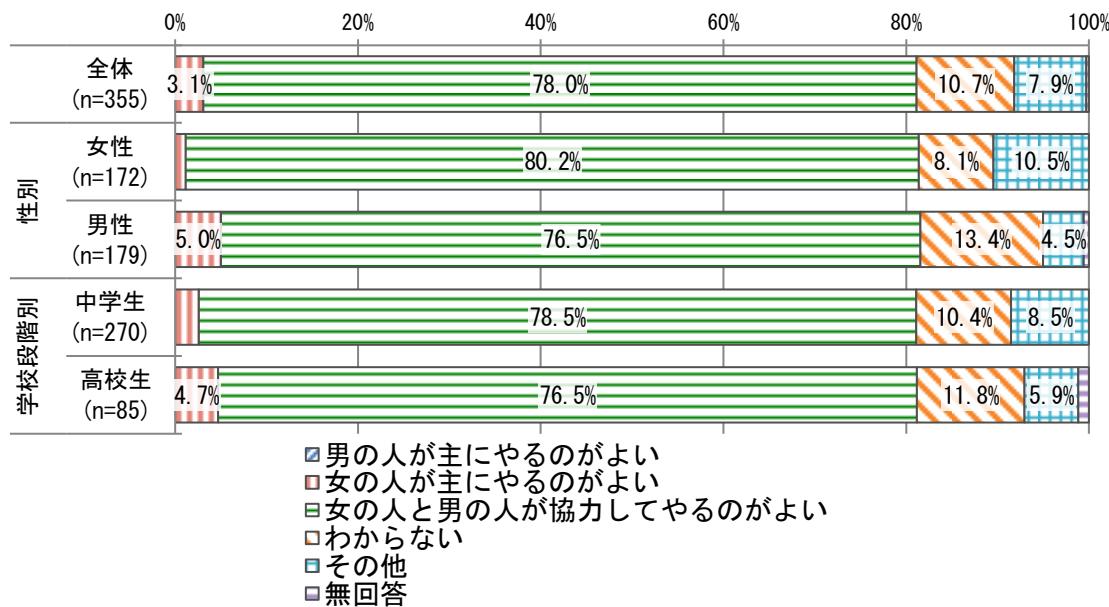
「いつもする」が1.1%、「ときどきする」が6.3%、「ほとんどしない」が46.9%となっています。



問9

あなたは家の中で、食事のしたくやそうじ、洗たくのような家事は、誰がやるのが一番よいと思いますか。(1つ選択)

「女人と男の人が協力してやるのがよい」が78.0%と最も高く、次いで「わからない」が10.7%、「その他」が7.9%となっています。



	単純集計	性別		学校段階別			
		全般	女性	男性	あてはまらない	中学生	高校生
サンプル数		355	172	179	4	270	85
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
男の人が主にやるのがよい	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
女の人が主にやるのがよい	11	2	9	0	7	4	3.1%
	3.1%	1.2%	5.0%	0.0%	2.6%	4.7%	
女の人と男の人が協力してやるのがよい	277	138	137	2	212	65	78.0%
	78.0%	80.2%	76.5%	50.0%	78.5%	76.5%	
わからない	38	14	24	0	28	10	10.7%
	10.7%	8.1%	13.4%	0.0%	10.4%	11.8%	
その他	28	18	8	2	23	5	7.9%
	7.9%	10.5%	4.5%	50.0%	8.5%	5.9%	
無回答	1	0	1	0	0	1	0.3%
	0.3%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	1.2%	

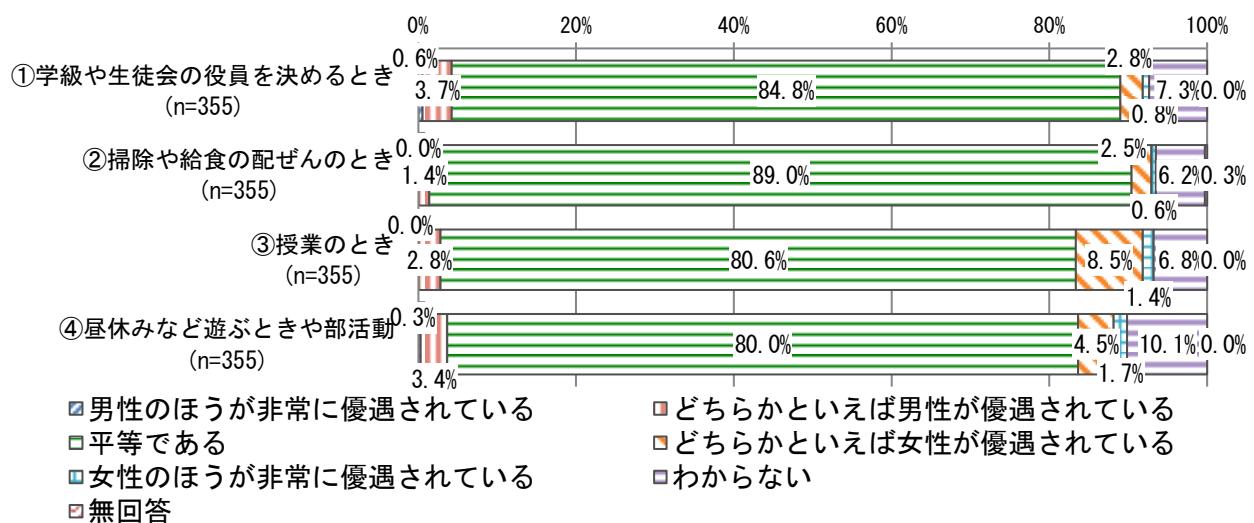
■ その他の内容

- 皆で協力してやる (同回答多数)
- 役割分担をする (同回答多数)
- その時にできる人がやる (同回答多数)
- 手の空いている人がやる (同回答多数)

3 学校生活について

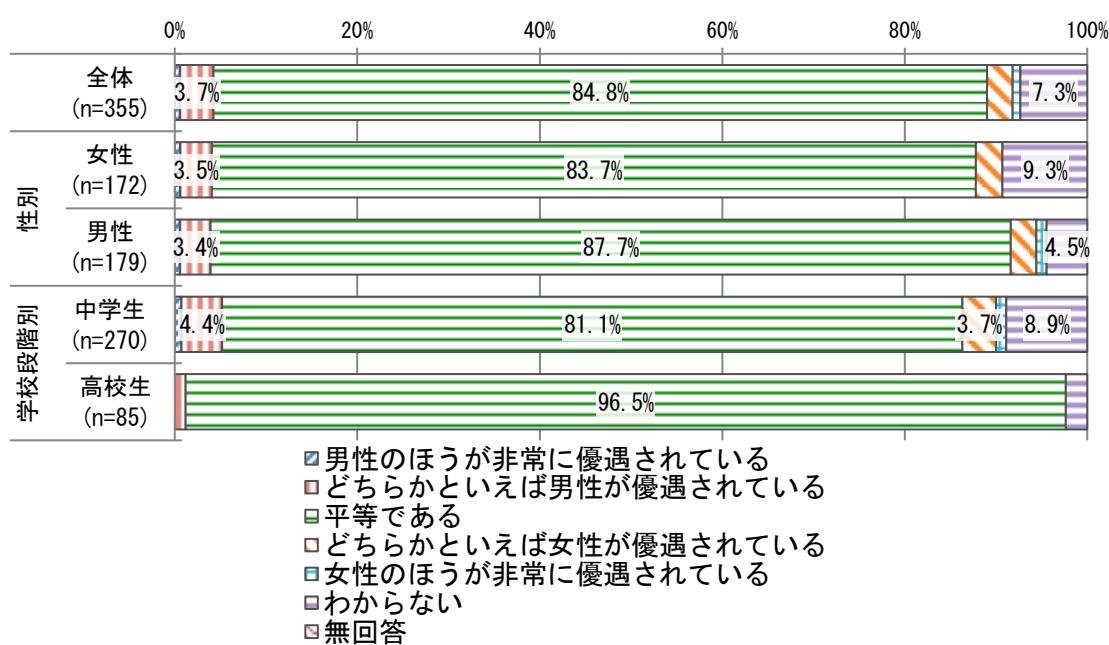
問10 あなたは学校生活的次の場面で、男女の地位は平等になっていると思いますか。
(①~④のそれぞれについて1つ選択)

すべての項目で「平等である」が8割台となっています。



問10① 学級や生徒会の役員を決めるとき

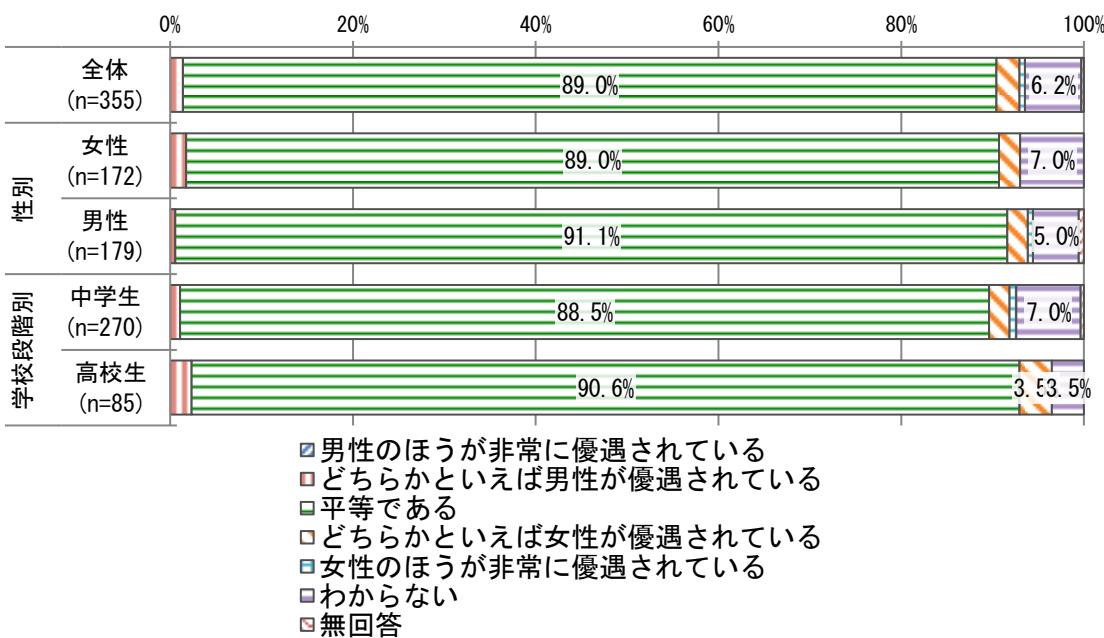
「平等である」が84.8%と最も高く、次いで「わからない」が7.3%、「どちらかといえば男性が優遇されている」が3.7%となっています。



	単純集計	性別			学校段階別	
		女性	男性	あてはまらない	中学生	
					高校生	
サンプル数	355	172	179	4	270	85
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
男性のほうが非常に優遇されている	2	1	1	0	2	0
	0.6%	0.6%	0.6%	0.0%	0.7%	0.0%
どちらかといえば男性が優遇されている	13	6	6	1	12	1
	3.7%	3.5%	3.4%	25.0%	4.4%	1.2%
平等である	301	144	157	0	219	82
	84.8%	83.7%	87.7%	0.0%	81.1%	96.5%
どちらかといえば女性が優遇されている	10	5	5	0	10	0
	2.8%	2.9%	2.8%	0.0%	3.7%	0.0%
女性のほうが非常に優遇されている	3	0	2	1	3	0
	0.8%	0.0%	1.1%	25.0%	1.1%	0.0%
わからない	26	16	8	2	24	2
	7.3%	9.3%	4.5%	50.0%	8.9%	2.4%
無回答	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問10② 掃除や給食の配ぜんのとき

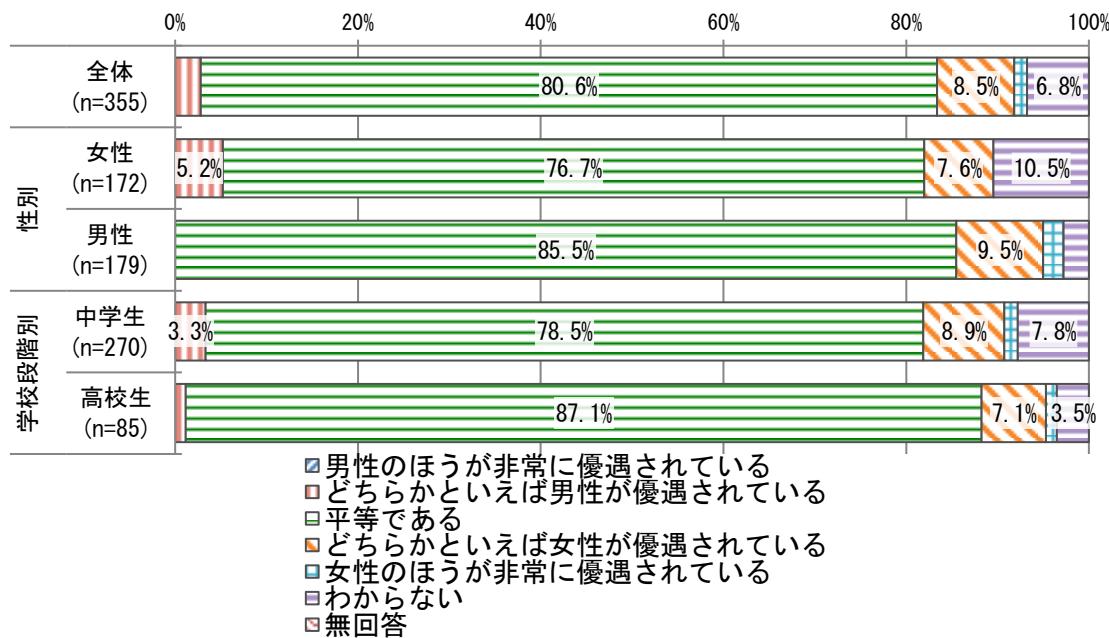
「平等である」が 89.0%と最も高く、次いで「わからない」が 6.2%、「どちらかといえば女性が優遇されている」が 2.5%となっています。



	単純集計	性別			学校段階別	
		女性	男性	あてはまらない	中学生	
					高校生	
サンプル数	355	172	179	4	270	85
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
男性のほうが非常に優遇されている	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
どちらかといえば男性が優遇されている	5	3	1	1	3	2
	1.4%	1.7%	0.6%	25.0%	1.1%	2.4%
平等である	316	153	163	0	239	77
	89.0%	89.0%	91.1%	0.0%	88.5%	90.6%
どちらかといえば女性が優遇されている	9	4	4	1	6	3
	2.5%	2.3%	2.2%	25.0%	2.2%	3.5%
女性のほうが非常に優遇されている	2	0	1	1	2	0
	0.6%	0.0%	0.6%	25.0%	0.7%	0.0%
わからない	22	12	9	1	19	3
	6.2%	7.0%	5.0%	25.0%	7.0%	3.5%
無回答	1	0	1	0	1	0
	0.3%	0.0%	0.6%	0.0%	0.4%	0.0%

問10③ 授業のとき

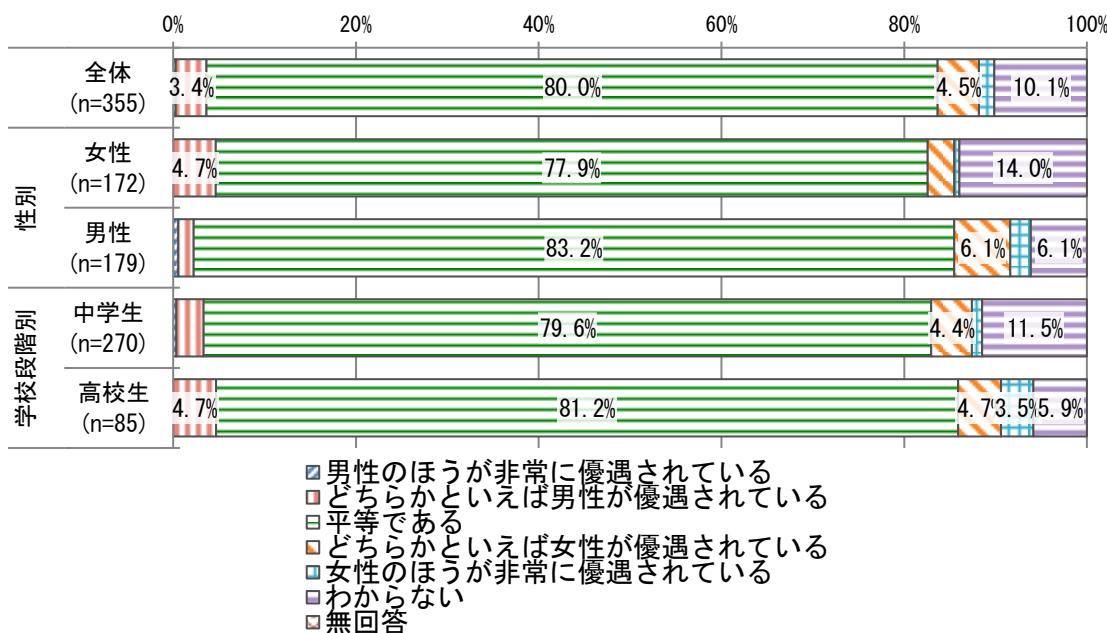
「平等である」が80.6%と最も高く、次いで「どちらかといえば女性が優遇されている」が8.5%、「わからない」が6.8%となっています。



	単純集計	性別		学校段階別				
		全体		女性	男性	あてはまらない	中学生	高校生
		女性	男性					
サンプル数		355	172	179	4	270	85	
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
男性のほうが非常に優遇されている		0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
どちらかといえば男性が優遇されている		10	9	0	1	9	1	1.2%
		2.8%	5.2%	0.0%	25.0%	3.3%		
平等である		286	132	153	1	212	74	87.1%
		80.6%	76.7%	85.5%	25.0%	78.5%		
どちらかといえば女性が優遇されている		30	13	17	0	24	6	7.1%
		8.5%	7.6%	9.5%	0.0%	8.9%		
女性のほうが非常に優遇されている		5	0	4	1	4	1	1.2%
		1.4%	0.0%	2.2%	25.0%	1.5%		
わからない		24	18	5	1	21	3	3.5%
		6.8%	10.5%	2.8%	25.0%	7.8%		
無回答		0	0	0	0	0	0	0.0%
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

問10④ 昼休みなど遊ぶときや部活動

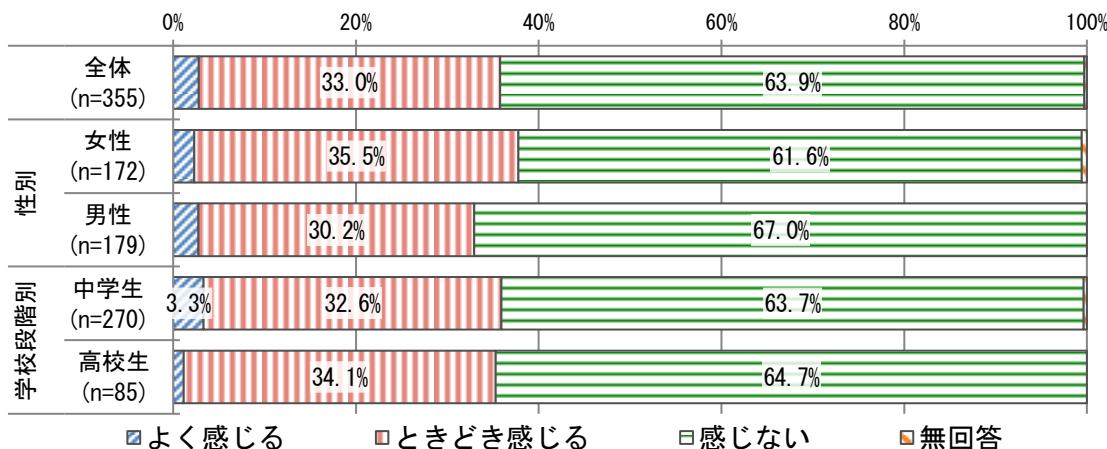
「平等である」が80.0%と最も高く、次いで「わからない」が10.1%、「どちらかといえば女性が優遇されている」が4.5%となっています。



	単純集計	性別		学校段階別			
		全体	女性	男性	あてはまらない	中学生	高校生
サンプル数	355	172	179	4	270	85	
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
男性のほうが非常に優遇されている		1	0	1	0	1	0
	0.3%	0.0%	0.6%	0.0%	0.4%	0.0%	
どちらかといえば男性が優遇されている		12	8	3	1	8	4
	3.4%	4.7%	1.7%	25.0%	3.0%	4.7%	
平等である		284	134	149	1	215	69
	80.0%	77.9%	83.2%	25.0%	79.6%	81.2%	
どちらかといえば女性が優遇されている		16	5	11	0	12	4
	4.5%	2.9%	6.1%	0.0%	4.4%	4.7%	
女性のほうが非常に優遇されている		6	1	4	1	3	3
	1.7%	0.6%	2.2%	25.0%	1.1%	3.5%	
わからない		36	24	11	1	31	5
	10.1%	14.0%	6.1%	25.0%	11.5%	5.9%	
無回答		0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

問11 学校生活の中で、男子と女子では役割に違いがあると思いますか。(1つ選択)

「よく感じる」が2.8%、「ときどき感じる」が33.0%、「感じない」が63.9%となっています。



	単純集計	性別		学校段階別			
		全般	女性	男性	あてはまらない	中学生	高校生
		全般	女性	男性	あてはまらない	中学生	高校生
サンプル数	355	172	179	4	270	85	
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
よく感じる	10	4	5	1	9	1	
	2.8%	2.3%	2.8%	25.0%	3.3%	1.2%	
ときどき感じる	117	61	54	2	88	29	
	33.0%	35.5%	30.2%	50.0%	32.6%	34.1%	
感じない	227	106	120	1	172	55	
	63.9%	61.6%	67.0%	25.0%	63.7%	64.7%	
無回答	1	1	0	0	1	0	
	0.3%	0.6%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	

問12は、問11で「1. よく感じる」または「2. ときどき感じる」と答えた方に聞きます。

問12 それについてどう思いますか。感じることや思うことを自由に記入してください。

【女子】

●何も感じない (8件)

●良くないと感じる (4件)

◇例えば物を運ぶ際などに男子がお願いされたり(もちろん女子の時もある)差別や区別などそういうものではなく、女性に対する気遣いからくる役割の違いはあると感じる。

◇学校行事の準備などで力の必要な準備がある時に男の子が呼ばれたり、女子の方ができることがあればその時呼ばれるのは良いと思う。

◇力がある男子は力がいる仕事などをやってもらっていて、女子はその他の力がなくてもできる仕事をやっている。

◇男子の方が作業がはかどることはあるが、男子だから、女子だからという理由は、個人的にあまり好きではない。

◇女子にしかできないことや男子にしかできないこともあると思う。どう感じるかは人それぞれだと思う。

◇男女平等を呼び掛けているのに、体育大会などの準備では男性に力仕事を任せているのがどうかなと思った。

- ◇平等がいいと思うが、力の強さが違うからお互いができるところを補って生活していけばいいと思う。
- ◇大きい荷物を運ぶとき、男子がよく連れていかれてるが、女子も運ぶことができるのになんと、感じる。
- ◇今は男女平等にとか言われているけれど、まだ無意識に差別をしていることがあって残念に感じる。
- ◇力仕事は男子が積極的に呼ばれ、手作業や器用さが求められる場合の時は女子が積極的に呼ばれる。
- ◇「男子だから力仕事」的な光景を目にしたことが何度かあり、ちょっと不平等かなとは感じる。
- ◇女子のほうが難しい役割をしていると少し思う。(少しあして一部の男子もしているけれど)
- ◇重い荷物を運ぶときは男が頼られている しおりの絵を描くのは女の子が任せられている
- ◇「男子は力持ちだから」と言って重たい荷物をいつも持たされていると感じる。
- ◇男女それぞれに合った仕事や係が割り振られているから、いいと思う。
- ◇男性は楽なことをして女性は楽じゃないことをしていると感じる。
- ◇力仕事だったら協力するか、男の人人がやったほうがいいと思う。
- ◇力による差別は、男女は関係ないことだから、やめてほしい。
- ◇確かに思っているときもあるけど、男子も大変だよなって思う
- ◇女子はこれをやって、男子はこれをやってと言わされたとき。
- ◇重たいものを持つときには男子のほうが力があるから。
- ◇先生が指名して質問するとき、男子をあてることが多い
- ◇まとめたり、注意するときがほとんど女子である。
- ◇男子がやりたがらない仕事は女子がしたりしている
- ◇力の差とかで運ぶものが違ったりするときがある。
- ◇お互いが、いやだと思っていないなら、いいと思う
- ◇重いものを持つ作業があるときはいいと思った。
- ◇なんとなくときどき感じことがある
- ◇力仕事は男性のほうが任せやすい
- ◇校則で男子はスカートを着れない
- ◇力仕事の時々感じる
- ◇疑問に思う

【男子】

●何も感じない (4件)

●良くないと感じる (4件)

◇男と女では腕力、身長などにどうしても違いが出るため、掃除当番などでそれに合った仕事が割り当てられることがある。

◇特に思うことはない。女の子が大変で代わってあげられるものは代わってあげるのは男の人の役割だと思う。

◇あまりないが、細かな作業などは女子が、力仕事などは男子が担当することが当たり前だと感じた経験がある

◇何事も自分の出来が悪く、自分が不遇なだけの可能性がある為、男子女子に関係しているかわからない。

◇別に悪いことではないと思うが、二つの勢力（男子と女子）に分かれかけている気がする

◇授業での役割を分担するときなど、まず男子と女子と区切られることが多い。

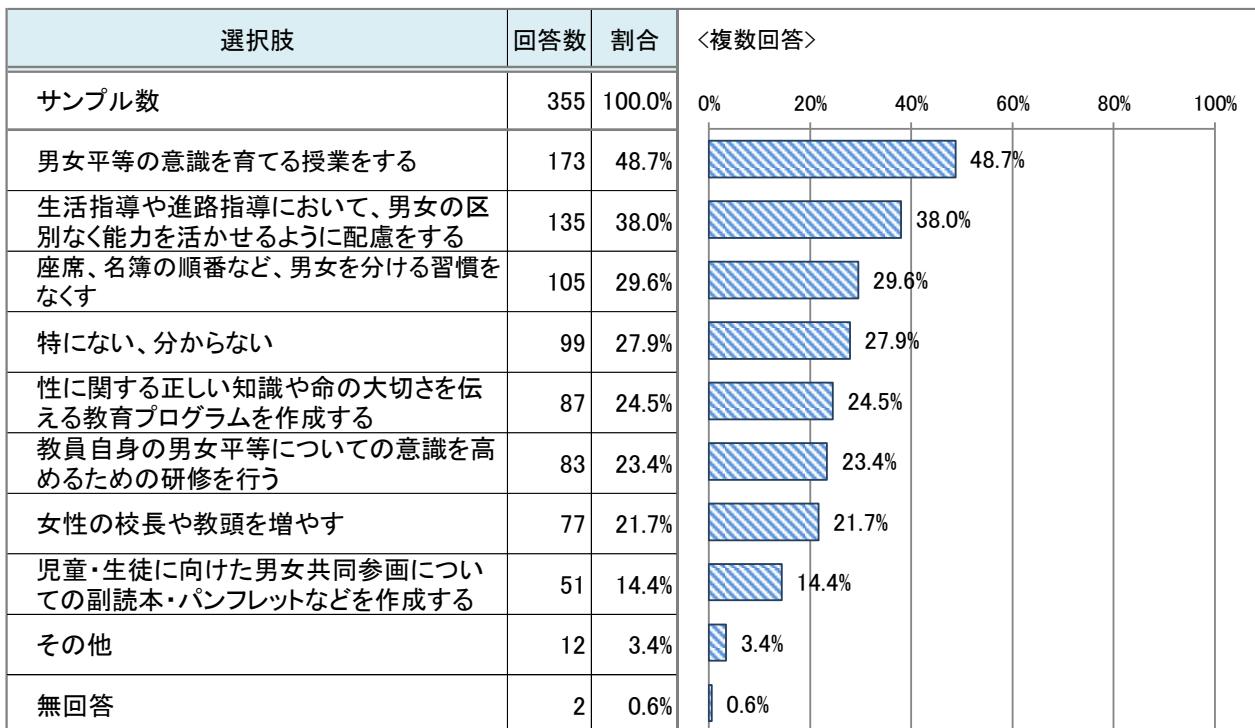
- ◇特に感じないけどあんまりそういったことは多くしないほうがいいと思う
- ◇男子は男子で、女子は女子で集まっているグループなどが多い
- ◇男の子は力仕事 女の子は細かい作業と分けられている。
- ◇体の関係上仕方ないと思う。役割を分けることはいいことだ
- ◇性格に少し違いがあるので別にいいのではないかと思った。
- ◇なんとも思わない、得意不得意が違うのは仕方のこと
- ◇力がいる仕事があったら、男の人がすることがある。
- ◇女子は練習が厳しくなくていいなと思う
- ◇ある程度仕方がないこともあると思う。
- ◇平等にしたほうがいいと思う。
- ◇力がある男子が力仕事をする
- ◇男子は重いもの 女子は軽いもの
- ◇クラスの話し合いのリーダー
- ◇場合によるがよくないと思う
- ◇別にいいと思う。適材適所
- ◇男女平等にしたほうがいい
- ◇何かをまとめたりするとき
- ◇一緒にやればいいと思う
- ◇重い荷物を運ぶ時など
- ◇男子は力仕事など
- ◇力仕事をするとき
- ◇練習量など

【性別無回答等】

- ◇人數的には男子が少ないが、一人一人が個性的なので男子の方が多く感じる。
- ◇平等であるべきだと思う
- ◇不思議だと感じる

あなたは、学校教育（小・中・高等学校）のなかで男女共同参画をすすめるための取
問13 組として、特に力を入れるべきだと思うものはありますか。（あてはまるものすべて
を選択）

「男女平等の意識を育てる授業をする」が48.7%と最も高く、次いで「生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を活かせるように配慮をする」が38.0%、「座席、名簿の順番など、男女を分ける習慣をなくす」が29.6%となっています。



	単純集計	性別		学校段階別		
		全體	女性	男性	あてはまらない	中学生
サンプル数	355	172	179	4	270	85
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
児童・生徒に向けた男女共同参画についての副読本・パンフレットなどを作成する	51	18	31	2	41	10
	14.4%	10.5%	17.3%	50.0%	15.2%	11.8%
男女平等の意識を育てる授業をする	173	93	77	3	134	39
	48.7%	54.1%	43.0%	75.0%	49.6%	45.9%
生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を活かせるように配慮をする	135	74	59	2	104	31
	38.0%	43.0%	33.0%	50.0%	38.5%	36.5%
座席、名簿の順番など、男女を分ける習慣をなくす	105	59	43	3	80	25
	29.6%	34.3%	24.0%	75.0%	29.6%	29.4%
性に関する正しい知識や命の大切さを伝える教育プログラムを作成する	87	48	37	2	66	21
	24.5%	27.9%	20.7%	50.0%	24.4%	24.7%
教員自身の男女平等についての意識を高めるための研修を行う	83	45	37	1	61	22
	23.4%	26.2%	20.7%	25.0%	22.6%	25.9%
女性の校長や教頭を増やす	77	52	24	1	56	21
	21.7%	30.2%	13.4%	25.0%	20.7%	24.7%
その他	12	7	3	2	8	4
	3.4%	4.1%	1.7%	50.0%	3.0%	4.7%
特にない、分からぬ	99	34	65	0	80	19
	27.9%	19.8%	36.3%	0.0%	29.6%	22.4%
無回答	2	1	1	0	1	1
	0.6%	0.6%	0.6%	0.0%	0.4%	1.2%

■ その他の内容

◇男女を全部分けるのはどうかなと思うところがある。実際に思春期に入り異性を意識しているわけだし、全部をわけるのはやりすぎだと思う。

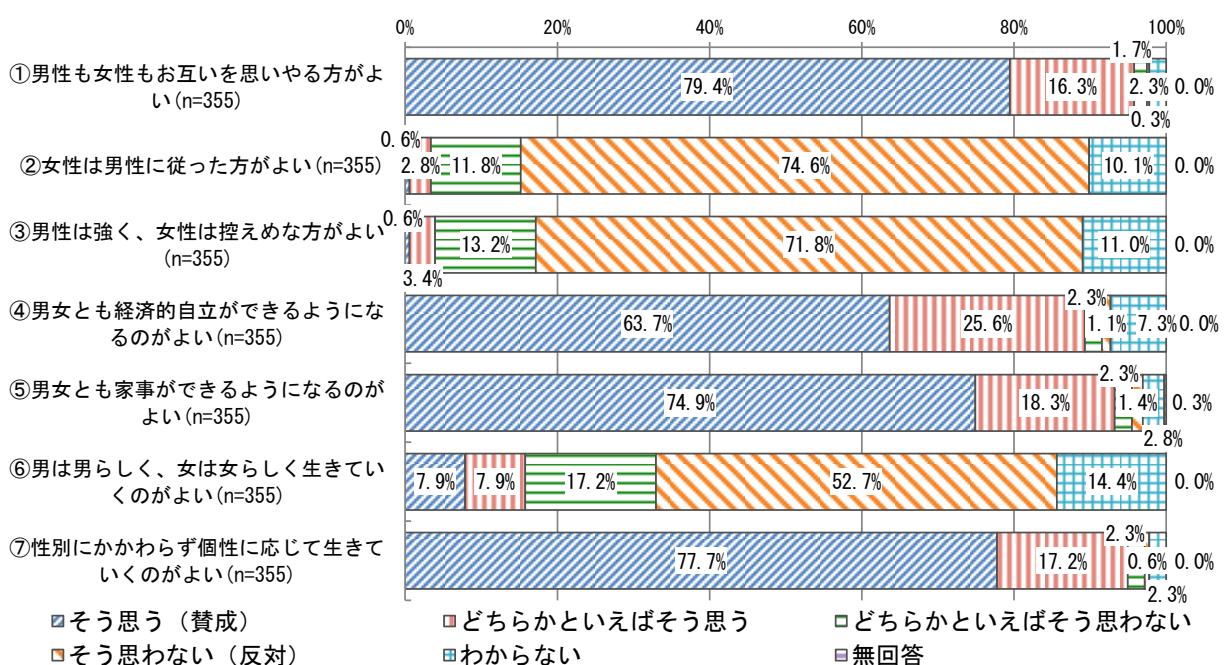
- ◇男子にも、しっかりと隠れられる更衣部屋を設けるべきだと思う。
- ◇道徳の中でとかで性についての勉強を入れられたらいいのかと思う。
- ◇先生たちが実際どう思っているのかという話をする
- ◇男子は力持ちだから〇〇をしなさい。というのをなくす
- ◇学生たちより大人の認識が足りていないと思う。
- ◇男女ではなく能力で判断する。
- ◇困っている人の相談に乗る
- ◇髪の毛に関する校則

4 男女の関係や男女共同参画の推進について

問14 男女の関係について、あなたの考えをお聞きします。次のような意見についてどのように考えますか。(①~⑦のそれぞれについて1つ選択)

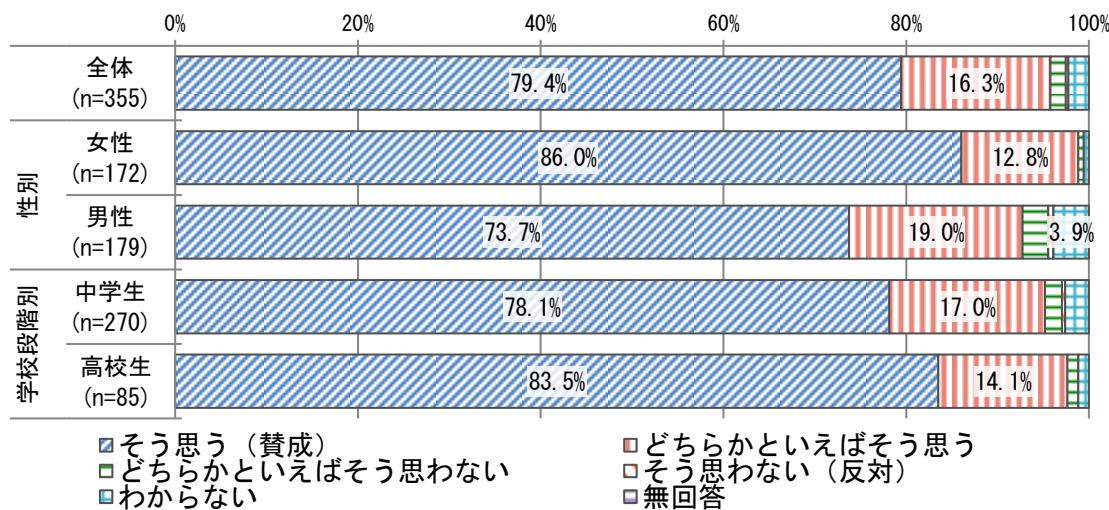
「そう思う（賛成）」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、「①男性も女性もお互いを思いやる方がよい」(95.7%)、「④男女とも経済的自立ができるようになるのが良い」(89.3%)、「⑤男女とも家事ができるようになるのがよい」(93.2%)、「⑦性別にかかわらず個性に応じて生きていくのがよい」(94.9%)の4項目で過半数となっています。

「そう思わない（反対）」と「どちらかといえばそう思わない」の合計は、「②女性は男性に従った方がよい」(86.4%)、「③男性は強く、女性は控えめな方がよい」(85.0%)、「⑥男は男らしく、女は女らしく生きていくのがよい」(69.9%)の3項目で過半数となっています。



問1 4① 男性も女性もお互いを思いやる方がよい

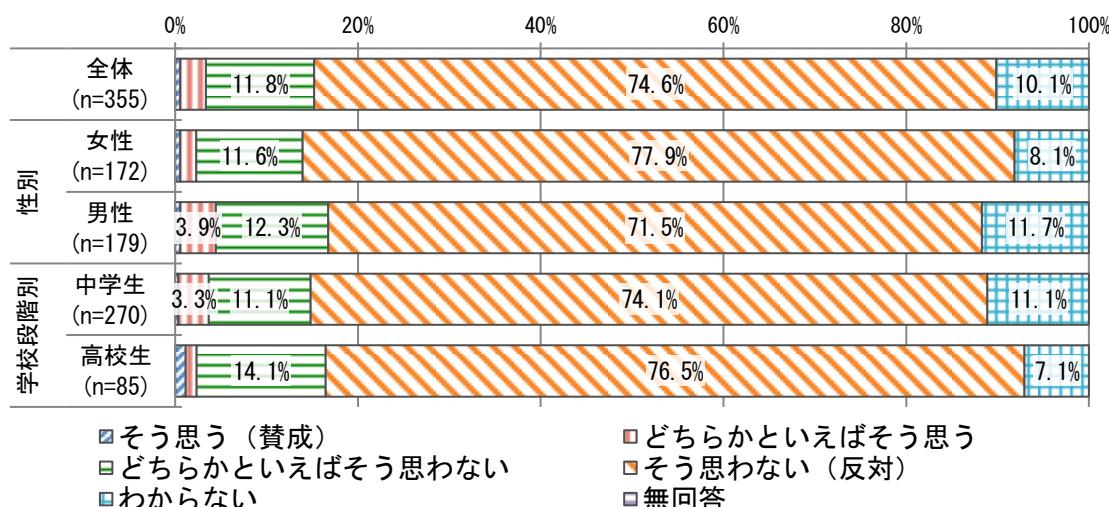
「そう思う（賛成）」が79.4%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が16.3%、「わからない」が2.3%となっています。



	単純集計	性別		学校段階別			
		全般	女性	男性	あてはまらない	中学生	高校生
サンプル数	355	172	179	4	270	85	
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
そう思う（賛成）	282	148	132	2	211	71	
	79.4%	86.0%	73.7%	50.0%	78.1%	83.5%	
どちらかといえばそう思う	58	22	34	2	46	12	
	16.3%	12.8%	19.0%	50.0%	17.0%	14.1%	
どちらかといえばそう思わない	6	1	5	0	5	1	
	1.7%	0.6%	2.8%	0.0%	1.9%	1.2%	
そう思わない（反対）	1	0	1	0	1	0	
	0.3%	0.0%	0.6%	0.0%	0.4%	0.0%	
わからない	8	1	7	0	7	1	
	2.3%	0.6%	3.9%	0.0%	2.6%	1.2%	
無回答	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

問1 4② 女性は男性に従った方がよい

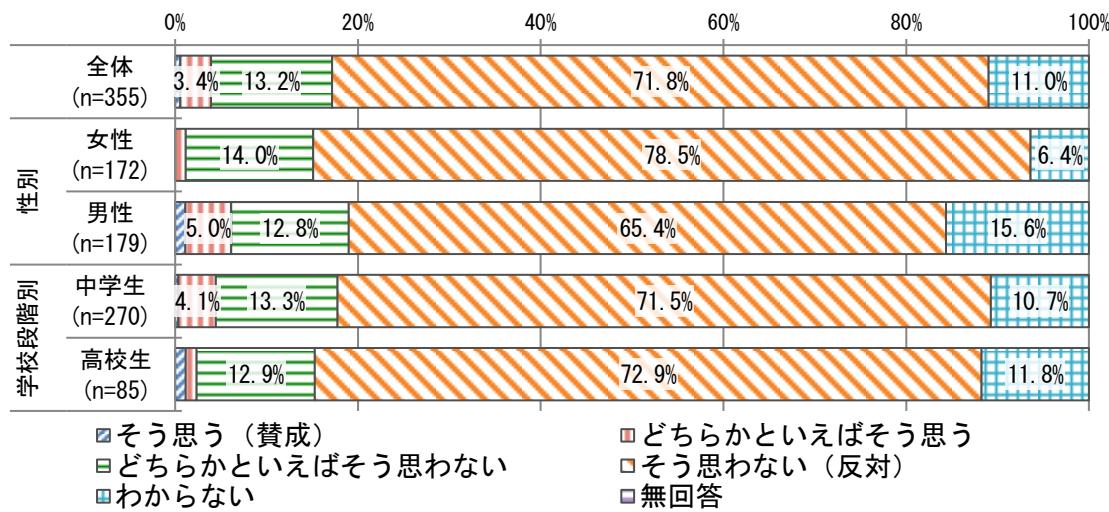
「そう思わない（反対）」が74.6%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が11.8%、「わからない」が10.1%となっています。



	単純集計	性別			学校段階別	
		女性	男性	あてはまらない	中学生	高校生
		全体会	172	179	4	270
サンプル数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
そう思う(賛成)	2	1	1	0	1	1
	0.6%	0.6%	0.6%	0.0%	0.4%	1.2%
どちらかといえばそう思う	10	3	7	0	9	1
	2.8%	1.7%	3.9%	0.0%	3.3%	1.2%
どちらかといえばそう思わない	42	20	22	0	30	12
	11.8%	11.6%	12.3%	0.0%	11.1%	14.1%
そう思わない(反対)	265	134	128	3	200	65
	74.6%	77.9%	71.5%	75.0%	74.1%	76.5%
わからない	36	14	21	1	30	6
	10.1%	8.1%	11.7%	25.0%	11.1%	7.1%
無回答	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問1 4③ 男性は強く、女性は控えめな方がよい

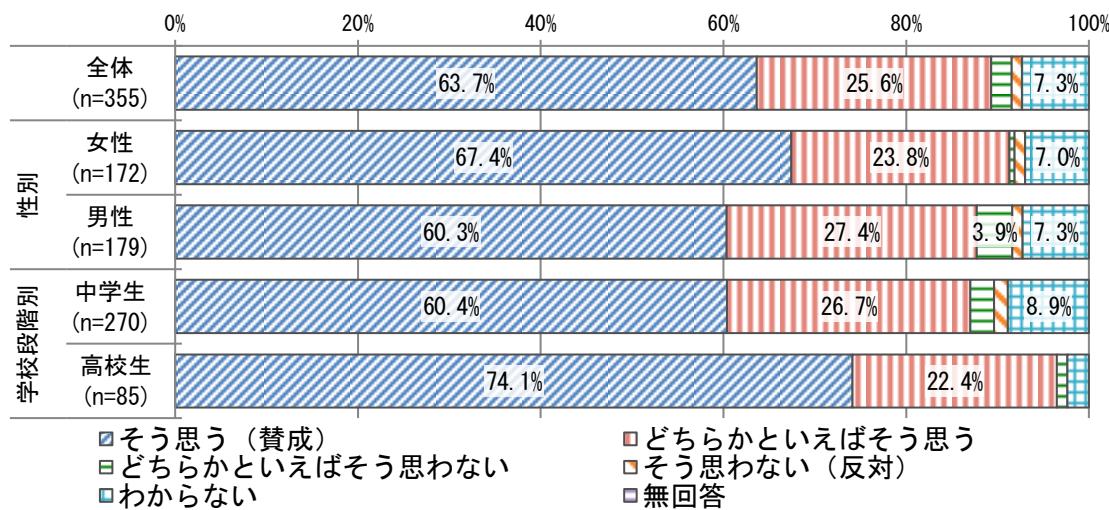
「そう思わない(反対)」が71.8%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が13.2%、「わからない」が11.0%となっています。



	単純集計	性別			学校段階別	
		女性	男性	あてはまらない	中学生	高校生
		全体会	172	179	4	270
サンプル数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
そう思う(賛成)	2	0	2	0	1	1
	0.6%	0.0%	1.1%	0.0%	0.4%	1.2%
どちらかといえばそう思う	12	2	9	1	11	1
	3.4%	1.2%	5.0%	25.0%	4.1%	1.2%
どちらかといえばそう思わない	47	24	23	0	36	11
	13.2%	14.0%	12.8%	0.0%	13.3%	12.9%
そう思わない(反対)	255	135	117	3	193	62
	71.8%	78.5%	65.4%	75.0%	71.5%	72.9%
わからない	39	11	28	0	29	10
	11.0%	6.4%	15.6%	0.0%	10.7%	11.8%
無回答	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問1 4④ 男女とも経済的自立ができるようになるのがよい

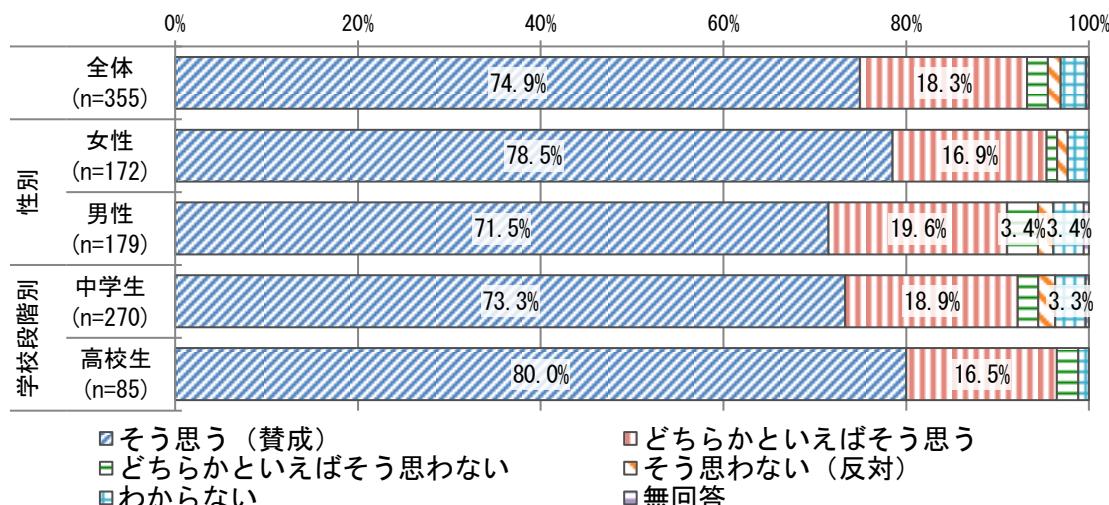
「そう思う（賛成）」が63.7%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が25.6%、「わからない」が7.3%となっています。



	単純集計		性別		学校段階別	
	全般	女性	男性	あてはまらない	中学生	高校生
サンプル数	355	172	179	4	270	85
100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
そう思う（賛成）	226	116	108	2	163	63
63.7%	67.4%	60.3%	50.0%	60.4%	74.1%	
どちらかといえばそう思う	91	41	49	1	72	19
25.6%	23.8%	27.4%	25.0%	26.7%	22.4%	
どちらかといえばそう思わない	8	1	7	0	7	1
2.3%	0.6%	3.9%	0.0%	2.6%	1.2%	
どう思わない（反対）	4	2	2	0	4	0
1.1%	1.2%	1.1%	0.0%	1.5%	0.0%	
わからない	26	12	13	1	24	2
7.3%	7.0%	7.3%	25.0%	8.9%	2.4%	
無回答	0	0	0	0	0	0
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

問1 4⑤ 男女とも家事ができるようになるのがよい

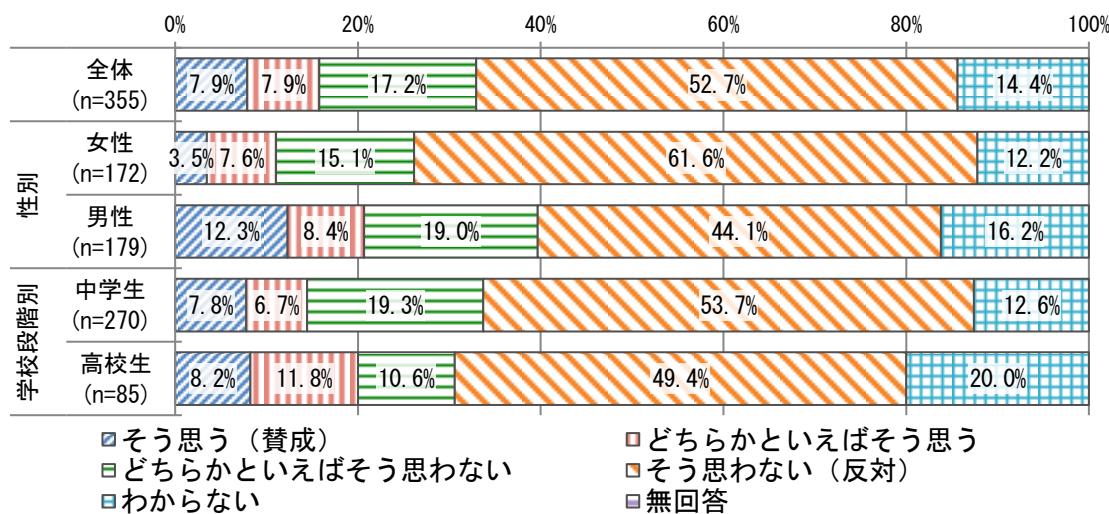
「そう思う（賛成）」が74.9%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が18.3%、「わからない」が2.8%となっています。



	単純集計	性別			学校段階別	
		女性	男性	あてはまらない	中学生	高校生
		全体	355	172	179	4
サンプル数		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
そう思う(賛成)	266	74.9%	135	78.5%	128	71.5%
どちらかといえばそう思う	65	18.3%	29	16.9%	35	19.6%
どちらかといえばそう思わない	8	2.3%	2	1.2%	6	3.4%
そう思わない(反対)	5	1.4%	2	1.2%	3	1.7%
わからない	10	2.8%	4	2.3%	6	3.4%
無回答	1	0.3%	0	0.0%	1	0.6%
					0.4%	0.0%

問14⑥ 男は男らしく、女は女らしく生きていくのがよい

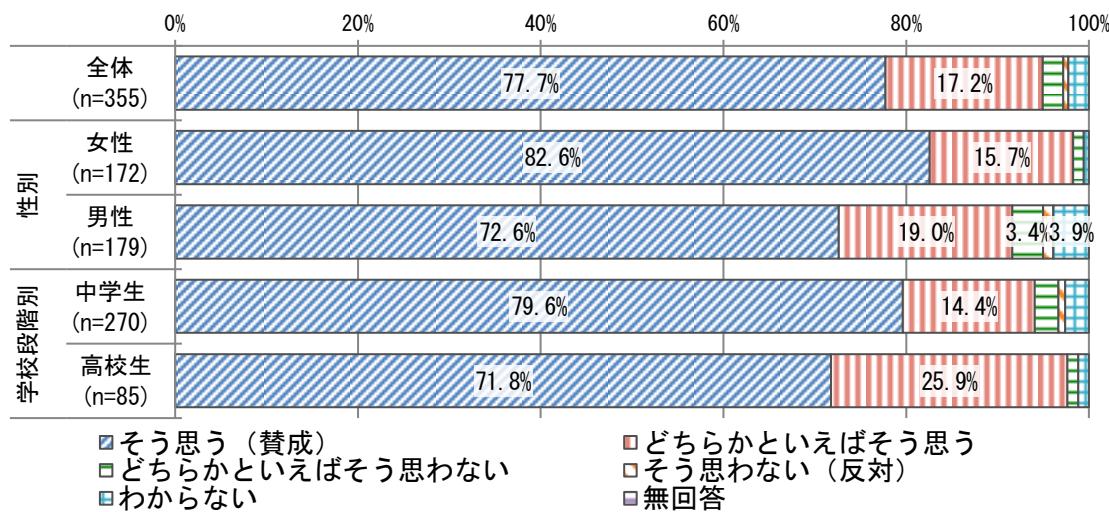
「そう思わない(反対)」が52.7%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が17.2%、「わからない」が14.4%となっています。



	単純集計	性別			学校段階別	
		女性	男性	あてはまらない	中学生	高校生
		全体	355	172	179	4
サンプル数		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
そう思う(賛成)	28	7.9%	6	3.5%	22	12.3%
どちらかといえばそう思う	28	7.9%	13	7.6%	15	8.4%
どちらかといえばそう思わない	61	17.2%	26	15.1%	34	19.0%
そう思わない(反対)	187	52.7%	106	61.6%	79	44.1%
わからない	51	14.4%	21	12.2%	29	16.2%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
					0.0%	0.0%

問1 4⑦ 性別にかかわらず個性に応じて生きていくのがよい

「そう思う（賛成）」が77.7%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が17.2%、「どちらかといえばそう思わない」と「わからない」が2.3%となっています。

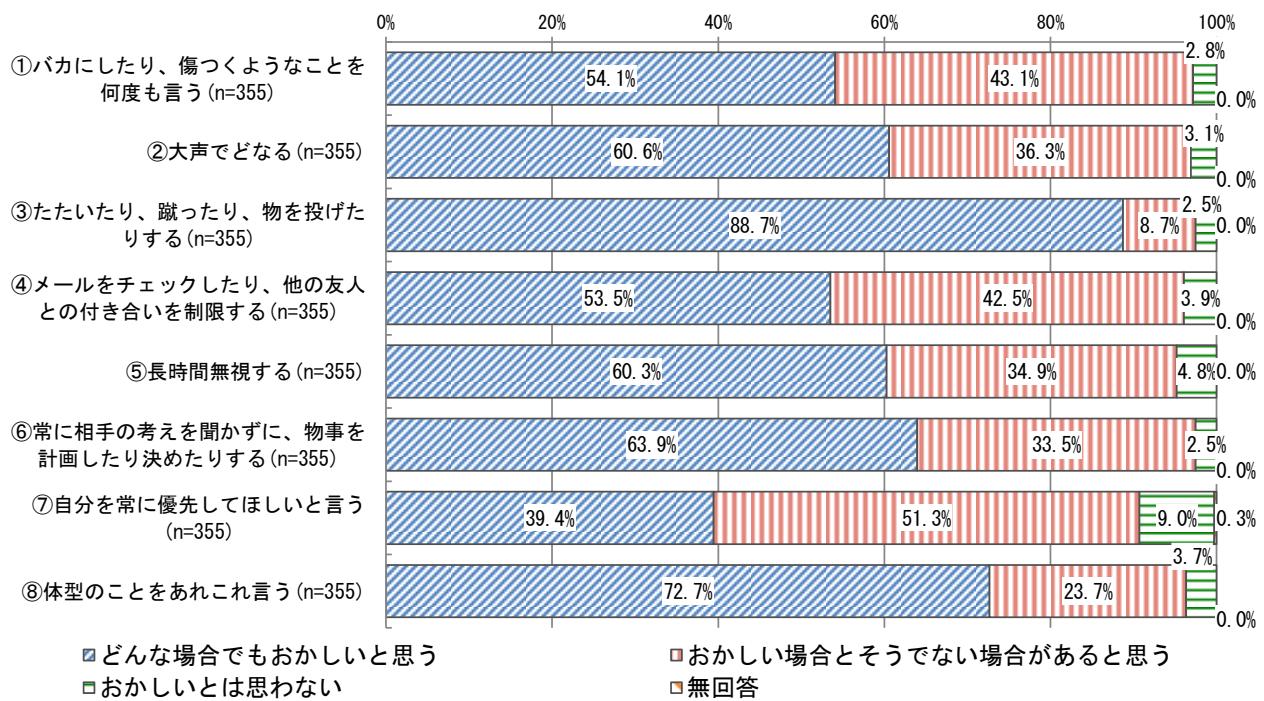


	単純集計	性別			学校段階別	
		全体	女性	男性	あてはまらない	中学生
			172	179		
サンプル数		355	172	179	4	270
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
そう思う(賛成)		276	142	130	4	215
		77.7%	82.6%	72.6%	100.0%	79.6%
どちらかといえばそう思う		61	27	34	0	39
		17.2%	15.7%	19.0%	0.0%	14.4%
どちらかといえばそう思わない		8	2	6	0	7
		2.3%	1.2%	3.4%	0.0%	2.6%
そう思わない(反対)		2	0	2	0	2
		0.6%	0.0%	1.1%	0.0%	0.7%
わからない		8	1	7	0	7
		2.3%	0.6%	3.9%	0.0%	2.6%
無回答		0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問15 次のようなことが、夫婦やカップルの間でたびたびあったとき、それをおかしいと思いますか。(①~⑧のそれぞれについて1つ選択)

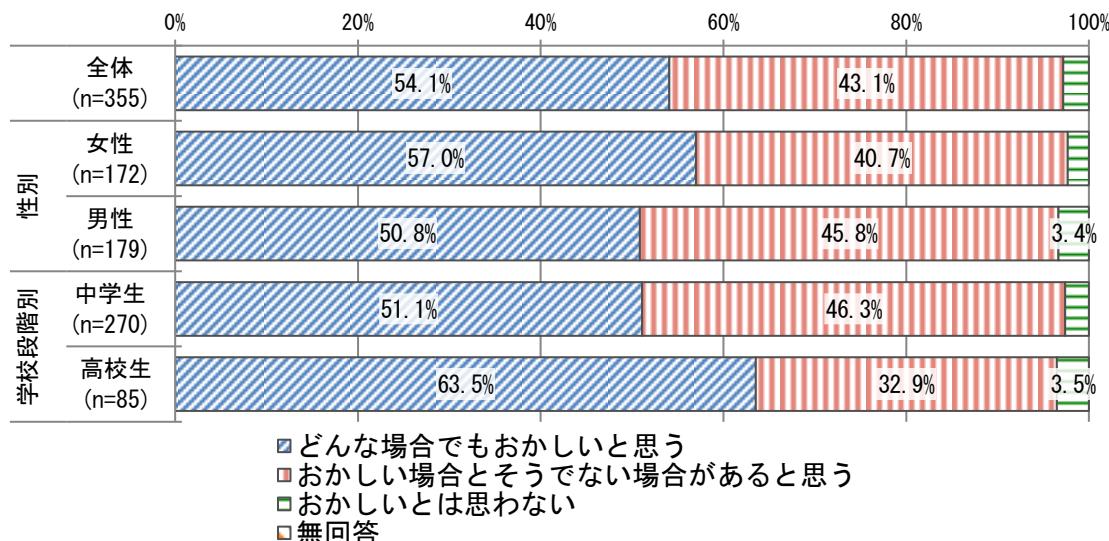
すべての項目で、「どんな場合でもおかしいと思う」と「おかしい場合とそうでない場合があると思う」の合計が9割台と高くなっています。

「どんな場合でもおかしいと思う」の割合をみると、「③たたいたり、蹴ったり、物を投げたりする」で88.7%、「⑧体型のことをあれこれ言う」で72.7%と他の項目と比較して高くなっています。



問15① バカにしたり、傷つくようなことを何度も言う

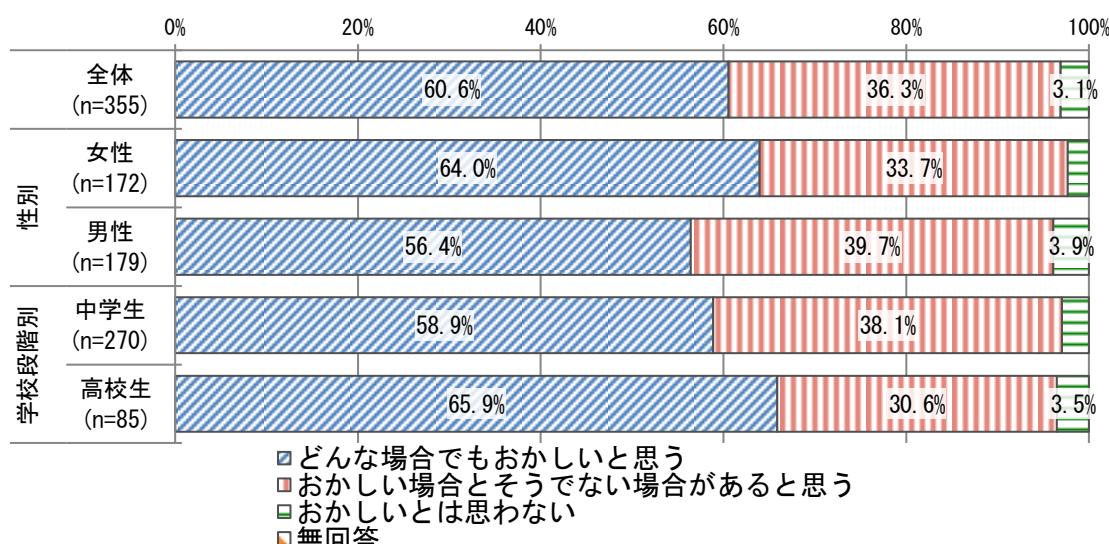
「どんな場合でもおかしいと思う」が 54.1%、「おかしい場合とそうでない場合があると思う」が 43.1%、「おかしいとは思わない」が 2.8%となっています。



	単純集計	性別		学校段階別			
		全般	女性	男性	あてはまらない	中学生	高校生
サンプル数	355	172	179	4	270	85	
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
どんな場合でもおかしいと思う	192	98	91	3	138	54	
	54.1%	57.0%	50.8%	75.0%	51.1%	63.5%	
おかしい場合とそうでない場合があると思う	153	70	82	1	125	28	
	43.1%	40.7%	45.8%	25.0%	46.3%	32.9%	
おかしいとは思わない	10	4	6	0	7	3	
	2.8%	2.3%	3.4%	0.0%	2.6%	3.5%	
無回答	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

問15② 大声でどなる

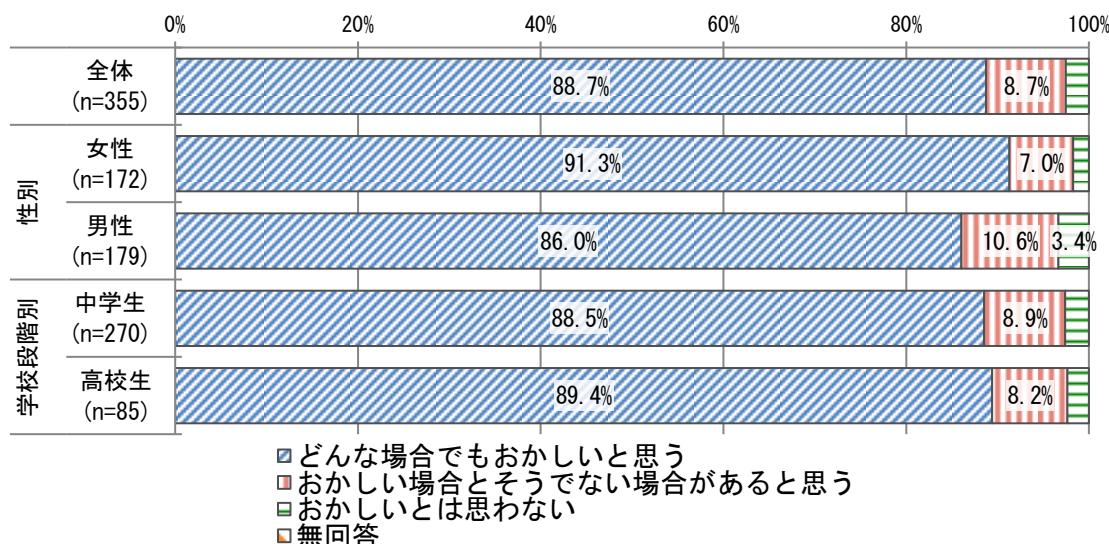
「どんな場合でもおかしいと思う」が 60.6%、「おかしい場合とそうでない場合があると思う」が 36.3%、「おかしいとは思わない」が 3.1%となっています。



	単純集計	性別		学校段階別	
		全体	女性	男性	あてはまらない
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
サンプル数		355	172	179	4
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
どんな場合でもおかしいと思う		215	110	101	4
		60.6%	64.0%	56.4%	100.0%
おかしい場合とそうでない場合があると思う		129	58	71	0
		36.3%	33.7%	39.7%	0.0%
おかしいとは思わない		11	4	7	0
		3.1%	2.3%	3.9%	0.0%
無回答		0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問15③ たたいたり、蹴ったり、物を投げたりする

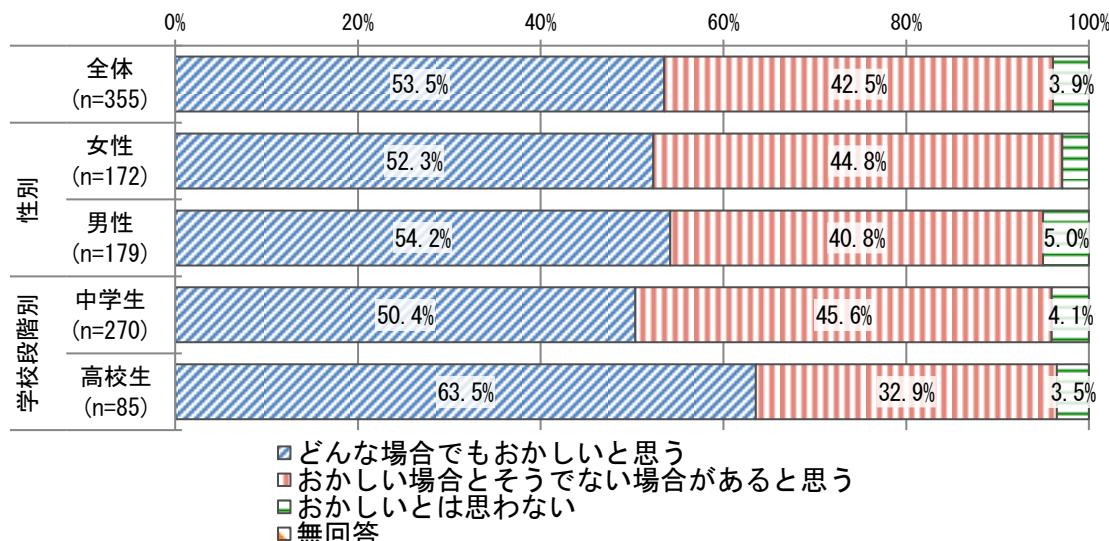
「どんな場合でもおかしいと思う」が 88.7%、「おかしい場合とそうでない場合があると思う」が 8.7%、「おかしいとは思わない」が 2.5%となっています。



	単純集計	性別		学校段階別	
		全体	女性	男性	あてはまらない
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
サンプル数		355	172	179	4
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
どんな場合でもおかしいと思う		315	157	154	4
		88.7%	91.3%	86.0%	100.0%
おかしい場合とそうでない場合があると思う		31	12	19	0
		8.7%	7.0%	10.6%	0.0%
おかしいとは思わない		9	3	6	0
		2.5%	1.7%	3.4%	0.0%
無回答		0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問15④ メールをチェックしたり、他の友人との付き合いを制限する

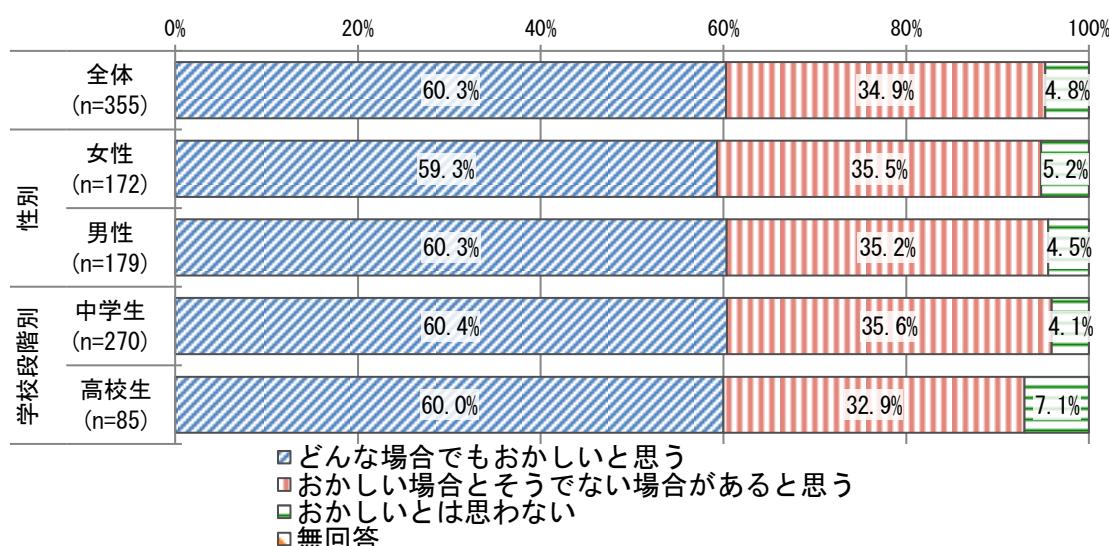
「どんな場合でもおかしいと思う」が 53.5%、「おかしい場合とそうでない場合があると思う」が 42.5%、「おかしいとは思わない」が 3.9%となっています。



	単純集計		性別		学校段階別	
	全般	女性	男性	あてはまらない	中学生	高校生
サンプル数	355	172	179	4	270	85
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
どんな場合でもおかしいと思う	190	90	97	3	136	54
	53.5%	52.3%	54.2%	75.0%	50.4%	63.5%
おかしい場合とそうでない場合があると思う	151	77	73	1	123	28
	42.5%	44.8%	40.8%	25.0%	45.6%	32.9%
おかしいとは思わない	14	5	9	0	11	3
	3.9%	2.9%	5.0%	0.0%	4.1%	3.5%
無回答	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問15⑤ 長時間無視する

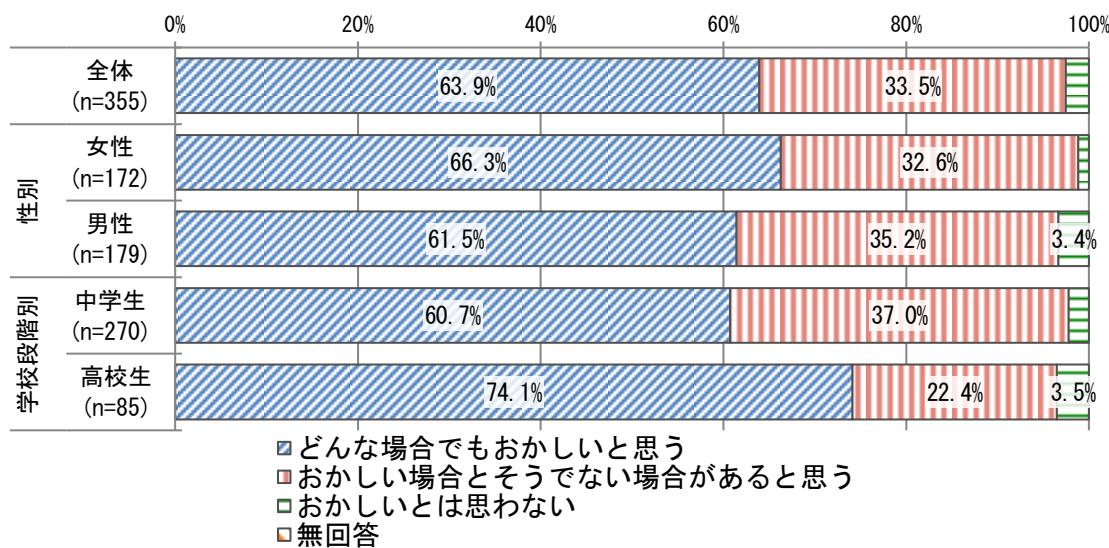
「どんな場合でもおかしいと思う」が 60.3%、「おかしい場合とそうでない場合があると思う」が 34.9%、「おかしいとは思わない」が 4.8%となっています。



	単純集計	性別			学校段階別	
		全体	女性	男性	あてはまらない	中学生
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
サンプル数		355	172	179	4	270 85
どんな場合でもおかしいと思う		214 60.3%	102 59.3%	108 60.3%	4 100.0%	163 60.4% 51 60.0%
おかしい場合とそうでない場合があると思う		124 34.9%	61 35.5%	63 35.2%	0 0.0%	96 35.6% 28 32.9%
おかしいとは思わない		17 4.8%	9 5.2%	8 4.5%	0 0.0%	11 4.1% 6 7.1%
無回答		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0% 0 0.0%

問15⑥ 常に相手の考えを聞かずに、物事を計画したり決めたりする

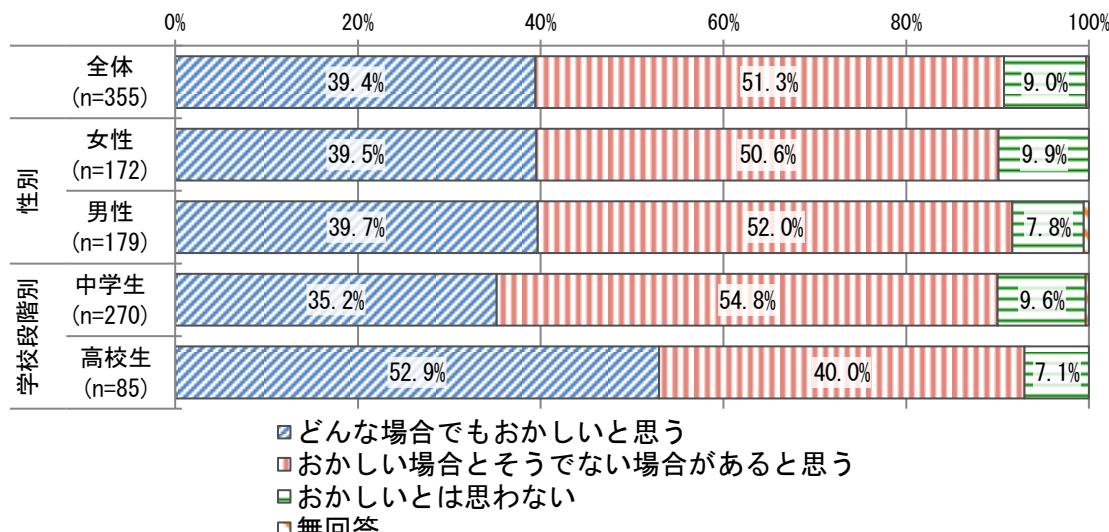
「どんな場合でもおかしいと思う」が 63.9%、「おかしい場合とそうでない場合があると思う」が 33.5%、「おかしいとは思わない」が 2.5%となっています。



	単純集計	性別			学校段階別	
		全体	女性	男性	あてはまらない	中学生
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
サンプル数		355	172	179	4	270 85
どんな場合でもおかしいと思う		227 63.9%	114 66.3%	110 61.5%	3 75.0%	164 60.7% 63 74.1%
おかしい場合とそうでない場合があると思う		119 33.5%	56 32.6%	63 35.2%	0 0.0%	100 37.0% 19 22.4%
おかしいとは思わない		9 2.5%	2 1.2%	6 3.4%	1 25.0%	6 2.2% 3 3.5%
無回答		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0% 0 0.0%

問15⑦ 自分を常に優先してほしいと思う

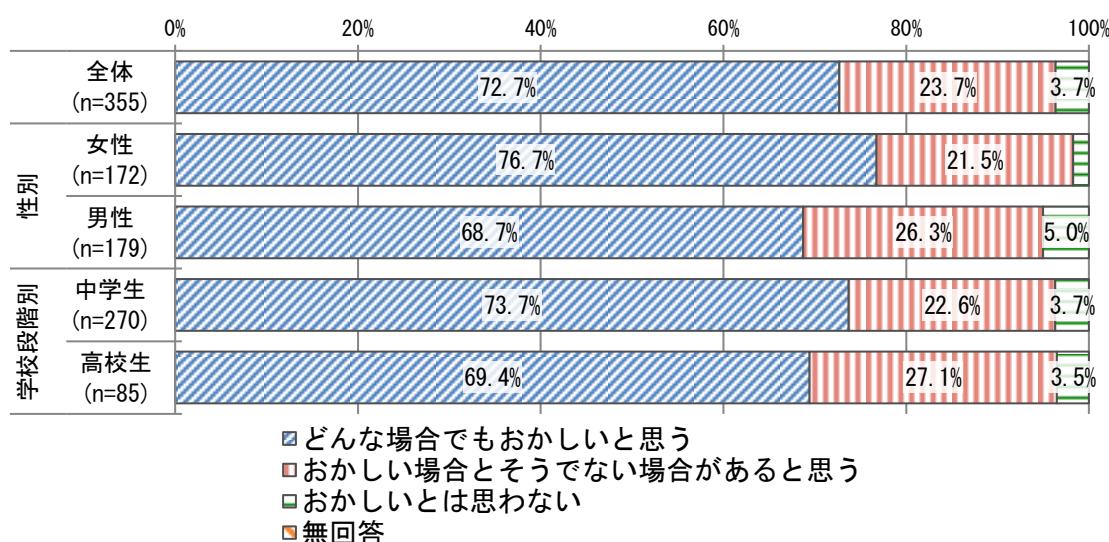
「どんな場合でもおかしいと思う」が39.4%、「おかしい場合とそうでない場合があると思う」が51.3%、「おかしいとは思わない」が9.0%となっています。



	単純集計	性別		学校段階別	
		全 女性	男 性	あてはまらない	中学生 高 校 生
サンプル数	355 172 179 4 270 85	100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0%			
どんな場合でもおかしいと思う	140 68 71 1 95 45	39.4% 39.5% 39.7% 25.0% 35.2% 52.9%			
おかしい場合とそうでない場合があると思う	182 87 93 2 148 34	51.3% 50.6% 52.0% 50.0% 54.8% 40.0%			
おかしいとは思わない	32 17 14 1 26 6	9.0% 9.9% 7.8% 25.0% 9.6% 7.1%			
無回答	1 0 1 0 1 0	0.3% 0.0% 0.6% 0.0% 0.4% 0.0%			

問15⑧ 体型のことをあれこれ言う

「どんな場合でもおかしいと思う」が72.7%、「おかしい場合とそうでない場合があると思う」が23.7%、「おかしいとは思わない」が3.7%となっています。

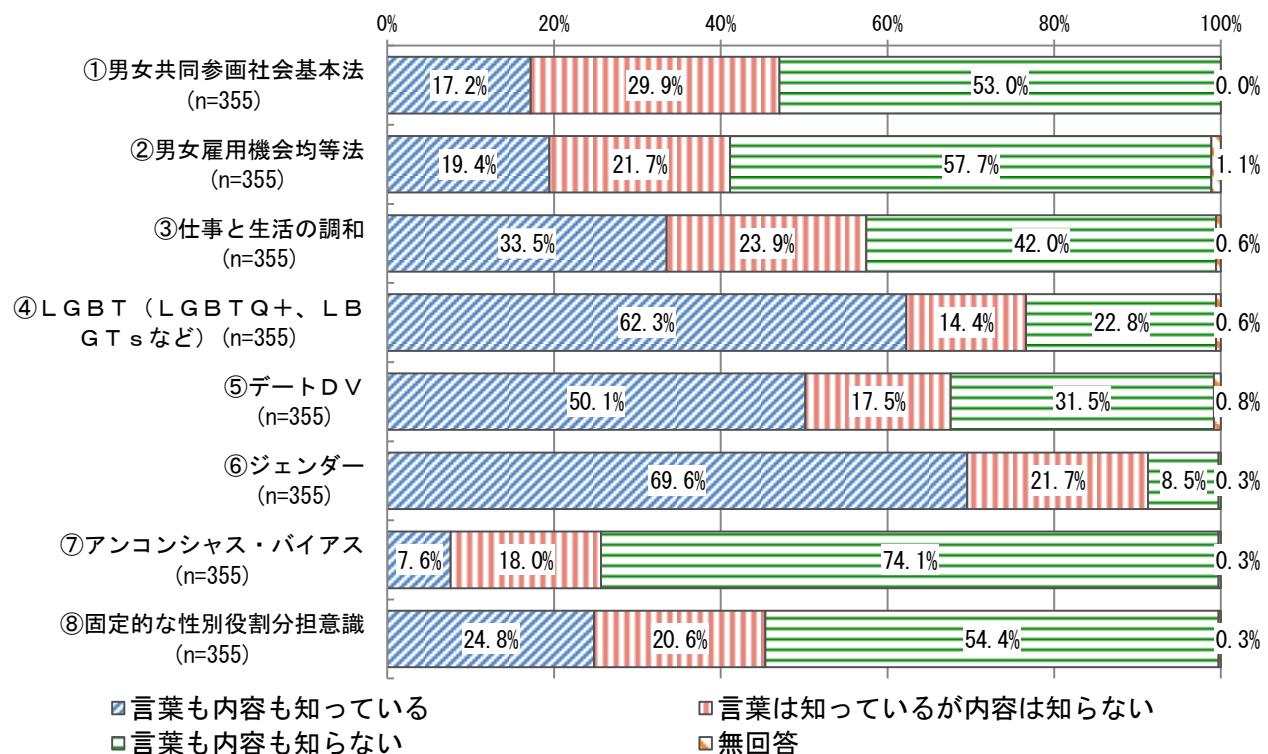


	単純集計	性別		学校段階別		
		女性	男性	あてはまらない	中学生	
		全體			高校生	
サンプル数	355	172	179	4	270	85
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
どんな場合でもおかしいと思う	258	132	123	3	199	59
	72.7%	76.7%	68.7%	75.0%	73.7%	69.4%
おかしい場合とそうでない場合があると思う	84	37	47	0	61	23
	23.7%	21.5%	26.3%	0.0%	22.6%	27.1%
おかしいとは思わない	13	3	9	1	10	3
	3.7%	1.7%	5.0%	25.0%	3.7%	3.5%
無回答	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問16 あなたは、次の男女共同参画などに関することを知っていますか。(①～⑧のそれについて1つ選択)

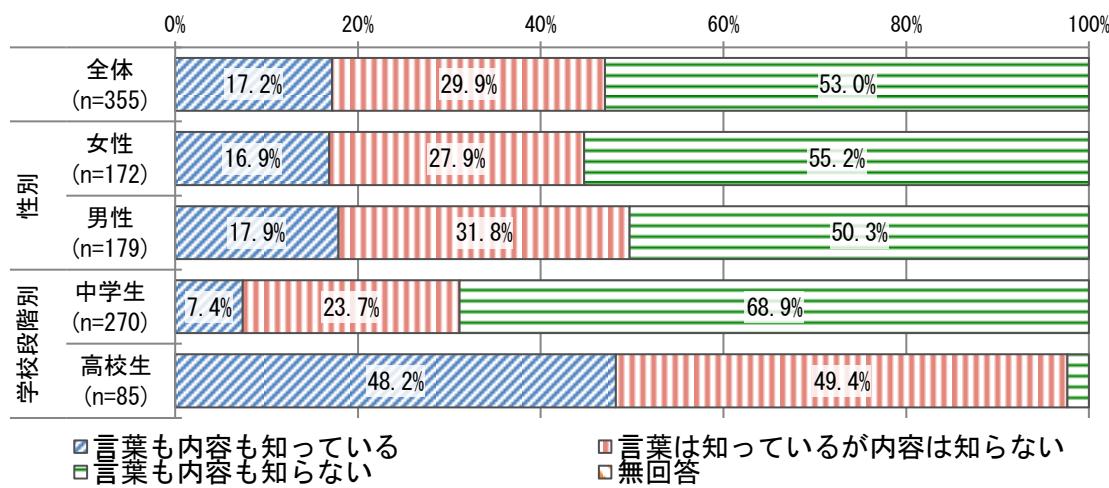
「言葉も内容も知っている」の割合をみると、「⑥ジェンダー」が 69.6%と最も高く、次いで「④L G B T (L G B T Q +、L B G T sなど)」が 62.3%、「⑤デートDV」が 50.1%の順となっています。

「言葉も内容も知らない」の割合をみると、「⑦アンコンシャス・バイアス」が 74.1%と最も高く、次いで「②男女雇用機会均等法」が 57.7%、「⑧固定的な性別役割分担意識」が 54.4%となっています。



問16① 男女共同参画社会基本法 （男女平等の実現を目指すための基本的な法律）

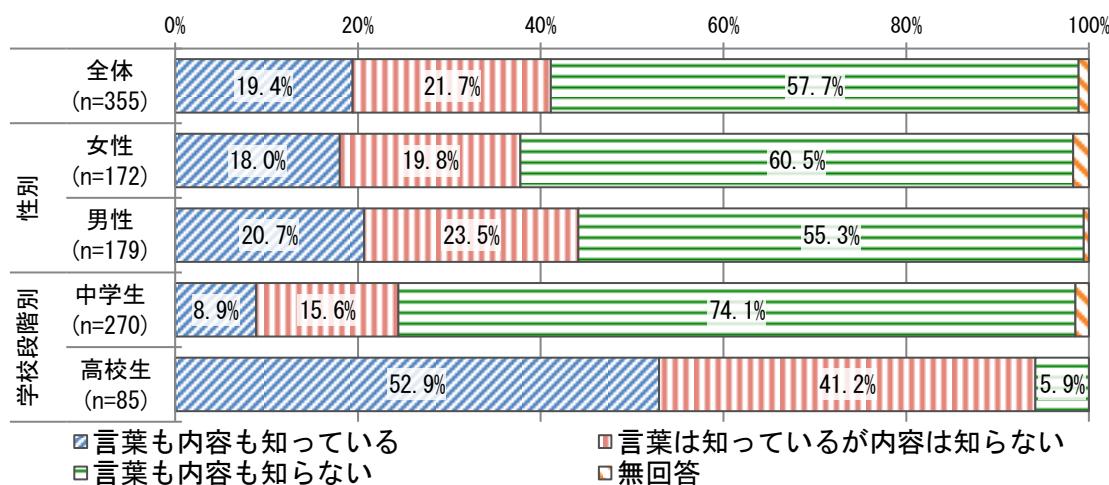
「言葉も内容も知っている」が17.2%、「言葉は知っているが内容は知らない」が29.9%、「言葉も内容も知らない」が53.0%となっています。



	単純集計		性別		学校段階別	
	全般	女性	男性	あてはまらない	中学生	高校生
サンプル数	355	172	179	4	270	85
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
言葉も内容も知っている	61	29	32	0	20	41
	17.2%	16.9%	17.9%	0.0%	7.4%	48.2%
言葉は知っているが内容は知らない	106	48	57	1	64	42
	29.9%	27.9%	31.8%	25.0%	23.7%	49.4%
言葉も内容も知らない	188	95	90	3	186	2
	53.0%	55.2%	50.3%	75.0%	68.9%	2.4%
無回答	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問16② 男女雇用機会均等法 （職場で男女が公平に扱われることを目標とする日本の法律）

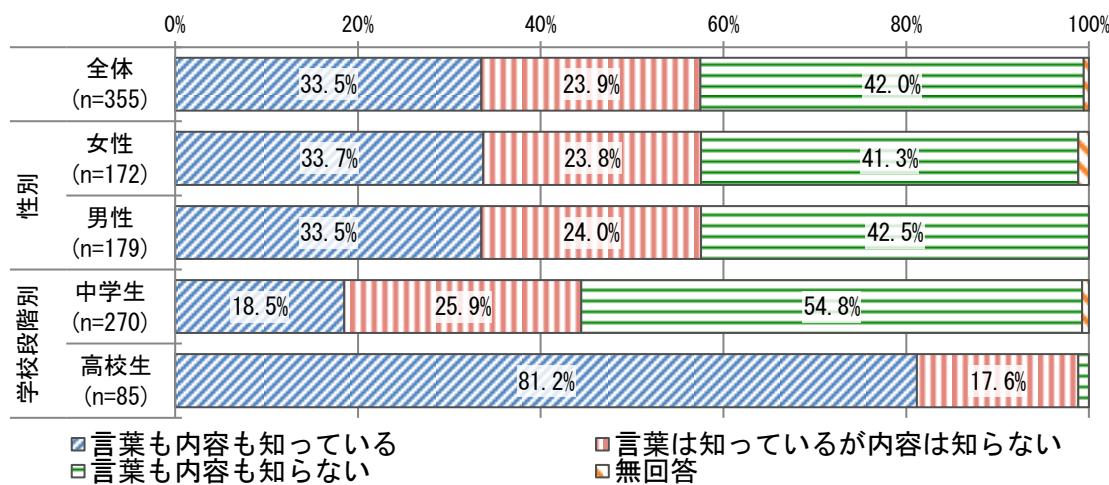
「言葉も内容も知っている」が19.4%、「言葉は知っているが内容は知らない」が21.7%、「言葉も内容も知らない」が57.7%となっています。



	単純集計	性別			学校段階別	
		全体	女性	男性	あてはまらない	中学生
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
サンプル数		355	172	179	4	270 85
言葉も内容も知っている		69 19.4%	31 18.0%	37 20.7%	1 25.0%	24 8.9% 45 52.9%
言葉は知っているが内容は知らない		77 21.7%	34 19.8%	42 23.5%	1 25.0%	42 15.6% 35 41.2%
言葉も内容も知らない		205 57.7%	104 60.5%	99 55.3%	2 50.0%	200 74.1% 5 5.9%
無回答		4 1.1%	3 1.7%	1 0.6%	0 0.0%	4 1.5% 0 0.0%

問16③ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）（無理な働き方をせず、仕事と家庭生活を両立させようとする考え方やその取組）

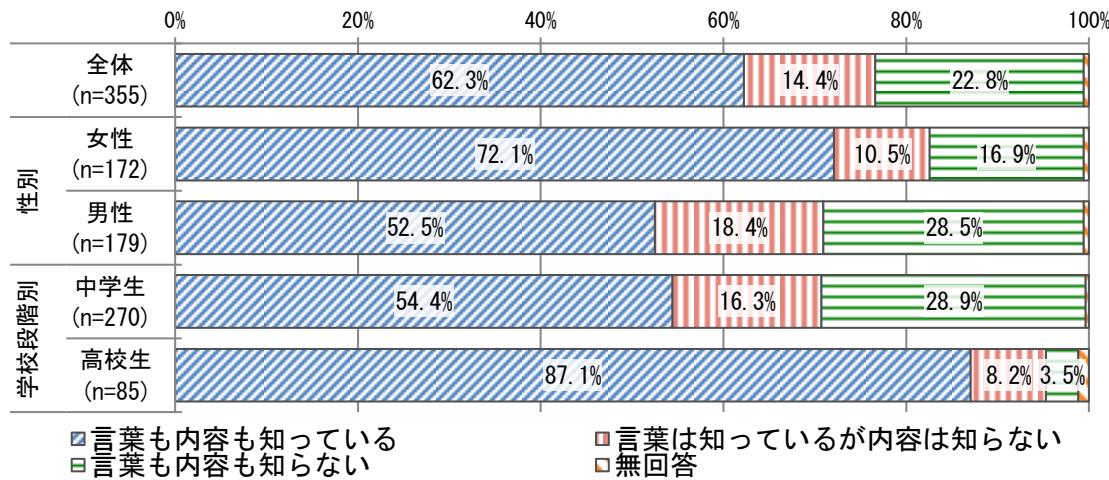
「言葉も内容も知っている」が33.5%、「言葉は知っているが内容は知らない」が23.9%、「言葉も内容も知らない」が42.0%となっています。



	単純集計	性別			学校段階別	
		全体	女性	男性	あてはまらない	中学生
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
サンプル数		355 100.0%	172 100.0%	179 100.0%	4 100.0%	270 85 100.0%
言葉も内容も知っている		119 33.5%	58 33.7%	60 33.5%	1 25.0%	50 18.5% 69 81.2%
言葉は知っているが内容は知らない		85 23.9%	41 23.8%	43 24.0%	1 25.0%	70 25.9% 15 17.6%
言葉も内容も知らない		149 42.0%	71 41.3%	76 42.5%	2 50.0%	148 54.8% 1 1.2%
無回答		2 0.6%	2 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.7% 0 0.0%

問16④ L G B T (L G B T Q+、L B G T sなど)
(恋愛対象が同性や両性である人や、生まれた時の性別に違和感を持つ人など)

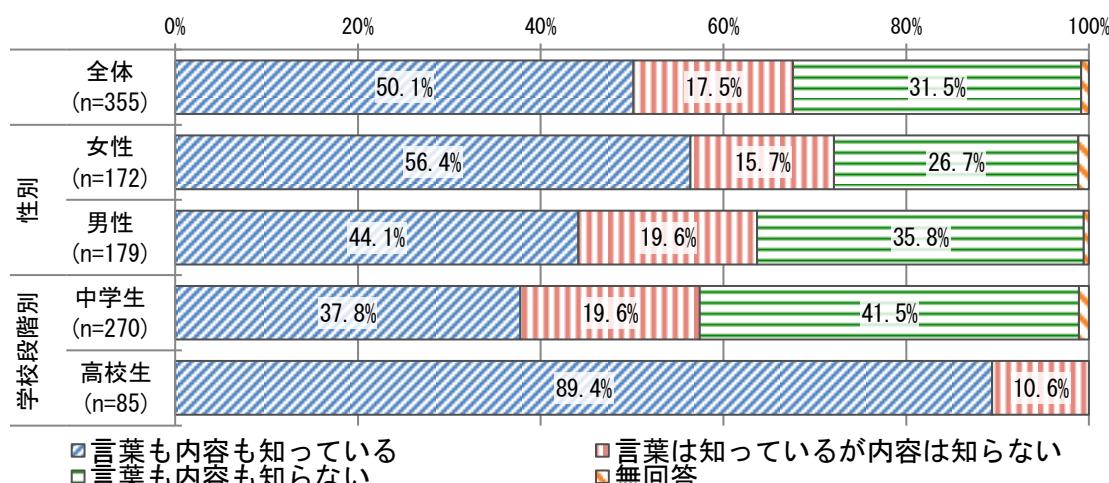
「言葉も内容も知っている」が62.3%、「言葉は知っているが内容は知らない」が14.4%、「言葉も内容も知らない」が22.8%となっています。



	単純集計	性別		学校段階別			
		全般	女性	男性	あてはまらない	中学生	
サンプル数		355	172	179	4	270	85
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
言葉も内容も知っている		221	124	94	3	147	74
		62.3%	72.1%	52.5%	75.0%	54.4%	87.1%
言葉は知っているが内容は知らない		51	18	33	0	44	7
		14.4%	10.5%	18.4%	0.0%	16.3%	8.2%
言葉も内容も知らない		81	29	51	1	78	3
		22.8%	16.9%	28.5%	25.0%	28.9%	3.5%
無回答		2	1	1	0	1	1
		0.6%	0.6%	0.6%	0.0%	0.4%	1.2%

問16⑤ デートDV (交際相手からの暴力行為)

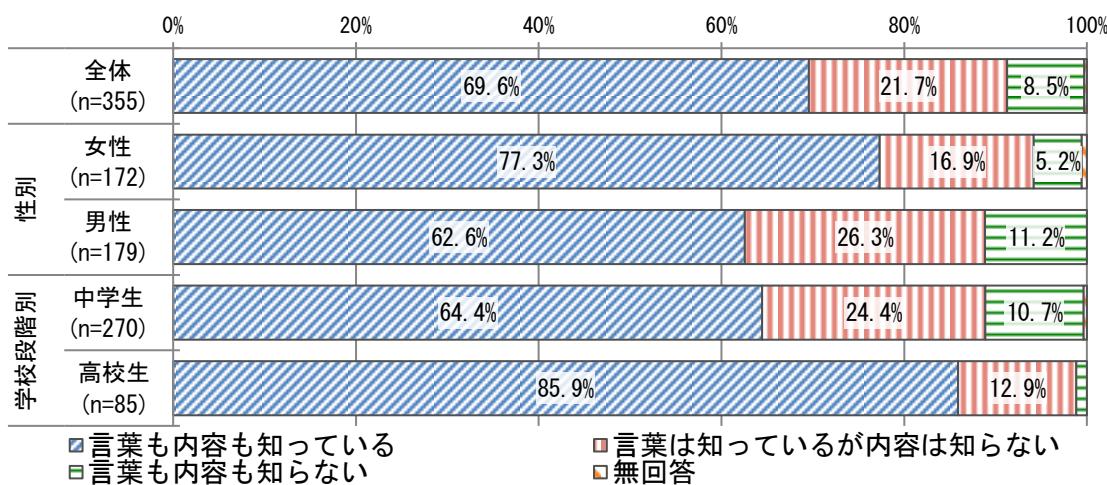
「言葉も内容も知っている」が50.1%、「言葉は知っているが内容は知らない」が17.5%、「言葉も内容も知らない」が31.5%となっています。



	単純集計	性別			学校段階別	
		全体	女性	男性	あてはまらない	中学生
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
サンプル数		355	172	179	4	270 85
言葉も内容も知っている		178	97	79	2	102 76
		50.1%	56.4%	44.1%	50.0%	37.8% 89.4%
言葉は知っているが内容は知らない		62	27	35	0	53 9
		17.5%	15.7%	19.6%	0.0%	19.6% 10.6%
言葉も内容も知らない		112	46	64	2	112 0
		31.5%	26.7%	35.8%	50.0%	41.5% 0.0%
無回答		3	2	1	0	3 0
		0.8%	1.2%	0.6%	0.0%	1.1% 0.0%

問1 6⑥ ジェンダー (社会的・文化的につくられる性別)

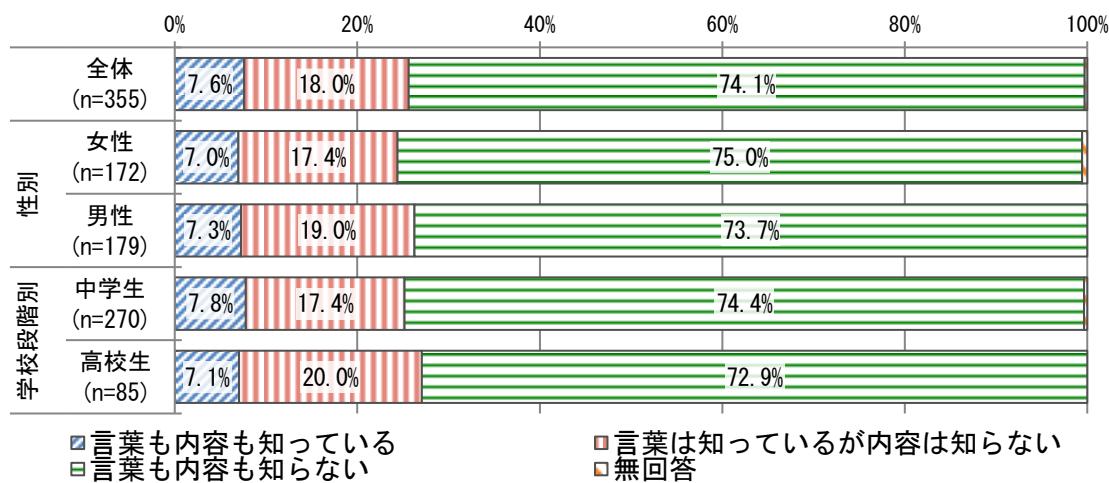
「言葉も内容も知っている」が 69.6%、「言葉は知っているが内容は知らない」が 21.7%、「言葉も内容も知らない」が 8.5%となっています。



	単純集計	性別			学校段階別	
		全体	女性	男性	あてはまらない	中学生
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
サンプル数		355	172	179	4	270 85
言葉も内容も知っている		247	133	112	2	174 73
		69.6%	77.3%	62.6%	50.0%	64.4% 85.9%
言葉は知っているが内容は知らない		77	29	47	1	66 11
		21.7%	16.9%	26.3%	25.0%	24.4% 12.9%
言葉も内容も知らない		30	9	20	1	29 1
		8.5%	5.2%	11.2%	25.0%	10.7% 1.2%
無回答		1	1	0	0	1 0
		0.3%	0.6%	0.0%	0.0%	0.4% 0.0%

問16⑦ アンコンシャス・バイアス (無意識の思い込み)

「言葉も内容も知っている」が7.6%、「言葉は知っているが内容は知らない」が18.0%、「言葉も内容も知らない」が74.1%となっています。

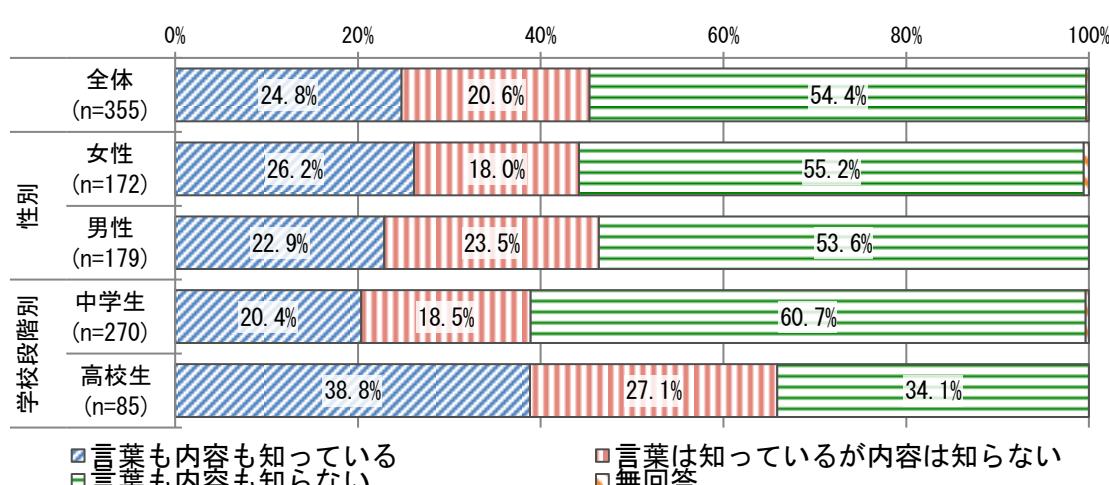


		単純集計		性別		学校段階別		
		全般	女性	男性	あてはまらない	中学生	高校生	
		サンプル数	355	172	179	4	270	85
言葉も内容も知っている		27	12	13	2	21	6	7.6%
言葉は知っているが内容は知らない		64	30	34	0	47	17	18.0%
言葉も内容も知らない		263	129	132	2	201	62	74.1%
無回答		1	1	0	0	1	0	0.3%

問16⑧ 固定的な性別役割分担意識

（「男は仕事、女は家庭」など、性別によって役割を固定的に分ける考え方）

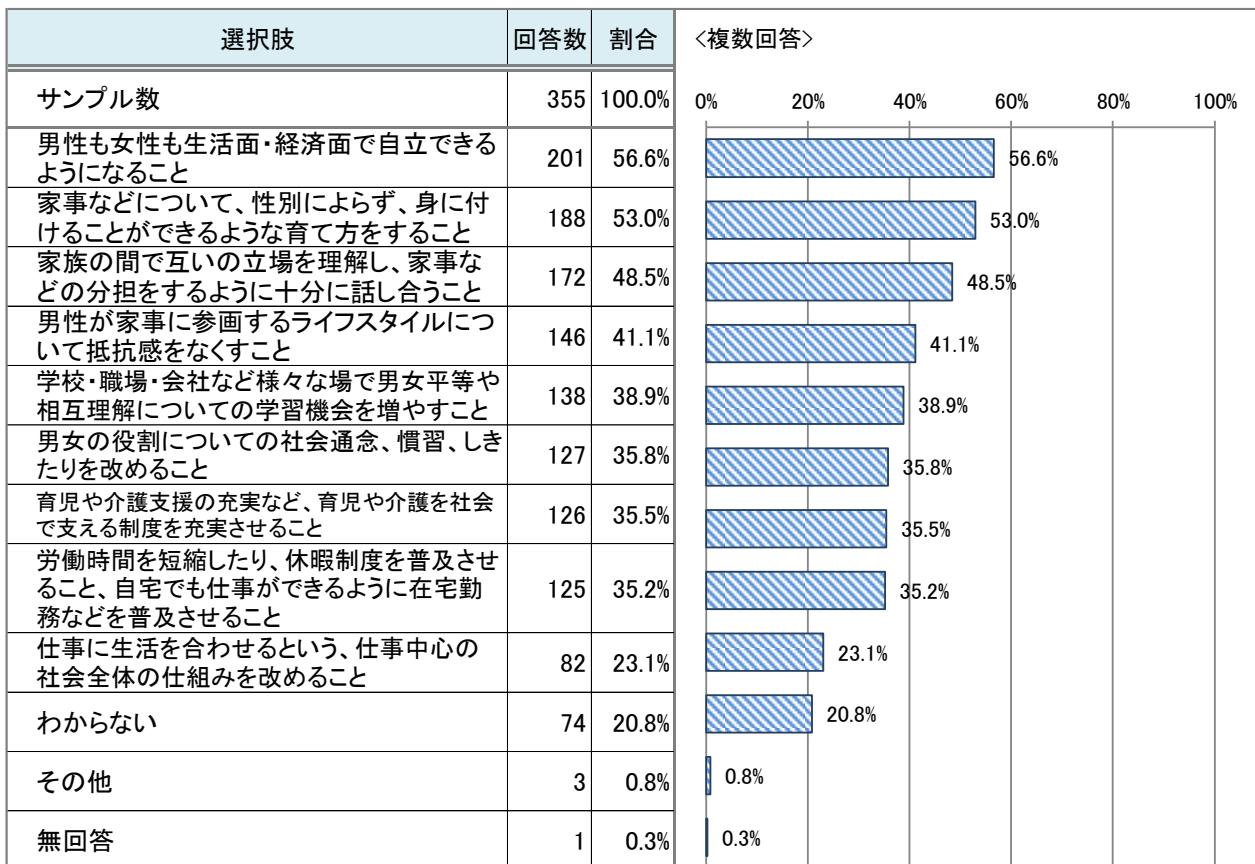
「言葉も内容も知っている」が24.8%、「言葉は知っているが内容は知らない」が20.6%、「言葉も内容も知らない」が54.4%となっています。



	単純集計	性別			学校段階別	
		全体	女性	男性	あてはまらない	中学生
サンプル数	355	172	179	4	270	85
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
言葉も内容も知っている	88	45	41	2	55	33
	24.8%	26.2%	22.9%	50.0%	20.4%	38.8%
言葉は知っているが内容は知らない	73	31	42	0	50	23
	20.6%	18.0%	23.5%	0.0%	18.5%	27.1%
言葉も内容も知らない	193	95	96	2	164	29
	54.4%	55.2%	53.6%	50.0%	60.7%	34.1%
無回答	1	1	0	0	1	0
	0.3%	0.6%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%

男性も女性も、家事・子育て・介護・地域活動・仕事などに、自分の意志で積極的に
問17 関わり、いきいきと暮らすことができるようになるためには、どのようなことが必要
だと思いますか。(あてはまるものすべてを選択)

「男性も女性も生活面・経済面で自立できるようになること」が 56.6%と最も高く、次いで「家事などについて、性別によらず、身に付けることができるような育て方をすること」が 53.0%、「家族の間で互いの立場を理解し、家事などの分担をするように十分に話し合うこと」が 48.5%となっています。



	単純集計	性別		学校段階別	
		女性	男性	あてはまらない	中学生
		全體			高校生
サンプル数		355	172	179	4
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
男女の役割についての社会通念、慣習、しきたりを改めること		127	64	61	2
	35.8%	37.2%	34.1%	50.0%	34.8%
仕事に生活を合わせるという、仕事中心の社会全体の仕組みを改めること		82	37	43	2
	23.1%	21.5%	24.0%	50.0%	22.6%
男性が家事に参画するライフスタイルについて抵抗感をなくすこと		146	79	65	2
	41.1%	45.9%	36.3%	50.0%	35.9%
男性も女性も生活面・経済面で自立できるようになること		201	111	88	2
	56.6%	64.5%	49.2%	50.0%	54.4%
家族の間で互いの立場を理解し、家事などの分担をするように十分に話し合うこと		172	102	68	2
	48.5%	59.3%	38.0%	50.0%	48.1%
家事などについて、性別によらず、身に付けることができるような育て方をすること		188	111	76	1
	53.0%	64.5%	42.5%	25.0%	53.7%
学校・職場・会社など様々な場で男女平等や相互理解についての学習機会を増やすこと		138	85	51	2
	38.9%	49.4%	28.5%	50.0%	38.1%
労働時間を短縮したり、休暇制度を普及させること、自宅でも仕事ができるように在宅勤務などを普及させること		125	66	57	2
	35.2%	38.4%	31.8%	50.0%	35.6%
育児や介護支援の充実など、育児や介護を社会で支える制度を充実させること		126	77	48	1
	35.5%	44.8%	26.8%	25.0%	32.6%
その他		3	1	2	0
	0.8%	0.6%	1.1%	0.0%	0.0%
わからない		74	19	53	2
	20.8%	11.0%	29.6%	50.0%	23.0%
無回答		1	0	1	0
	0.3%	0.0%	0.6%	0.0%	0.4%
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	単純集計	性別 × 学校段階別				
		全體	中学女子	中学男子	高校女子	高校男子
		全體				
サンプル数		355	132	134	40	45
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
男女の役割についての社会通念、慣習、しきたりを改めること		127	45	47	19	14
	35.8%	34.1%	35.1%	47.5%	31.1%	50.0%
仕事に生活を合わせるという、仕事中心の社会全体の仕組みを改めること		82	30	29	7	14
	23.1%	22.7%	21.6%	17.5%	31.1%	50.0%
男性が家事に参画するライフスタイルについて抵抗感をなくすこと		146	55	40	24	25
	41.1%	41.7%	29.9%	60.0%	55.6%	50.0%
男性も女性も生活面・経済面で自立できるようになること		201	81	64	30	24
	56.6%	61.4%	47.8%	75.0%	53.3%	50.0%
家族の間で互いの立場を理解し、家事などの分担をするように十分に話し合うこと		172	77	51	25	17
	48.5%	58.3%	38.1%	62.5%	37.8%	50.0%
家事などについて、性別によらず、身に付けることができるような育て方をすること		188	87	57	24	19
	53.0%	65.9%	42.5%	60.0%	42.2%	25.0%
学校・職場・会社など様々な場で男女平等や相互理解についての学習機会を増やすこと		138	64	37	21	14
	38.9%	48.5%	27.6%	52.5%	31.1%	50.0%
労働時間を短縮したり、休暇制度を普及させること、自宅でも仕事ができるように在宅勤務などを普及させること		125	53	41	13	16
	35.2%	40.2%	30.6%	32.5%	35.6%	50.0%
育児や介護支援の充実など、育児や介護を社会で支える制度を充実させること		126	53	34	24	14
	35.5%	40.2%	25.4%	60.0%	31.1%	25.0%
その他		3	0	0	1	2
	0.8%	0.0%	0.0%	2.5%	4.4%	0.0%
わからない		74	17	43	2	10
	20.8%	12.9%	32.1%	5.0%	22.2%	50.0%
無回答		1	0	1	0	0
	0.3%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%

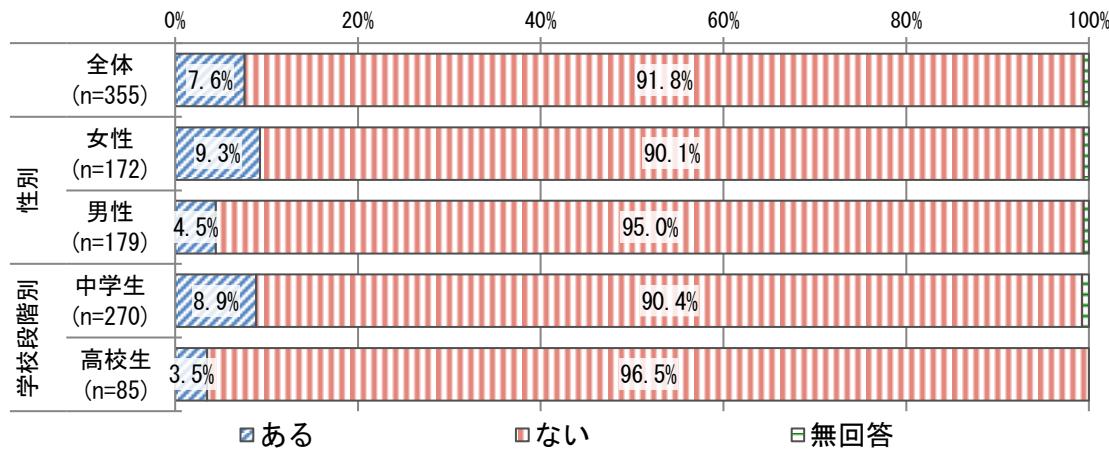
■ その他の内容

- ◇ 介護職などの、生活に必要な職業はもっと給料を高くしたり、労働状況を改善してりして、良いイメージを持たせる
- ◇ 男性でも育休を取りやすいようにすることが第一だと思う。

5 心と体に関する悩みについて

問18 あなたは、自身の性別について、違和感のあることや悩んでいること、わからないこと、不安なことなどがありますか。（1つ選択）

「ある」が7.6%、「ない」が91.8%となっています。



		単純集計		性別		学校段階別	
		全体会員	女性会員	男性会員	あてはまらない	中学生会員	高校生会員
		サンプル数	355	172	179	4	270
ある		27	16	8	3	24	3
ない		326	155	170	1	244	82
無回答		2	1	1	0	2	0

問19～問20は問18で「ある」と回答した人にうかがいます。

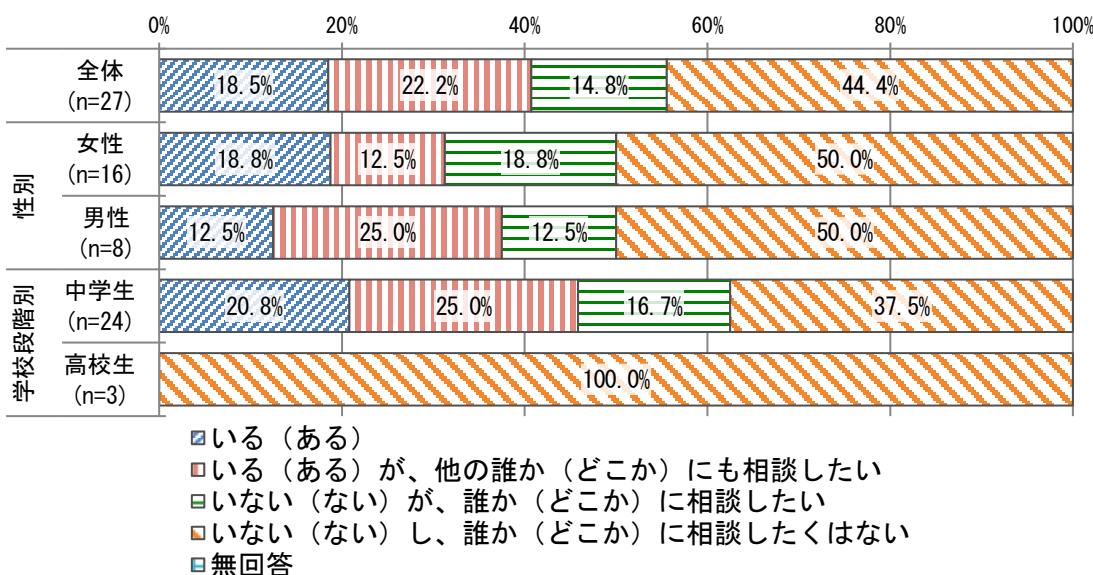
問19 その内容は何ですか。答えられる範囲で書いてください。（答えたくない場合は無理に書く必要はありません。）

■回答内容（要約）

- 性別にとらわれたくない。自分らしくあればよい。
- 自分の性格や身体について
- 恋愛対象となる性別
- 自分の性別について
- 友人関係

問20 その悩みを相談できる相手や場所はありますか。(1つ選択)

「いる（ある）」が18.5%、「いる（ある）が、他の誰か（どこか）にも相談したい」が22.2%、「いない（ない）が、誰か（どこか）に相談したい」が14.8%、「いない（ない）し、誰か（どこか）に相談したくはない」が44.4%となっています。



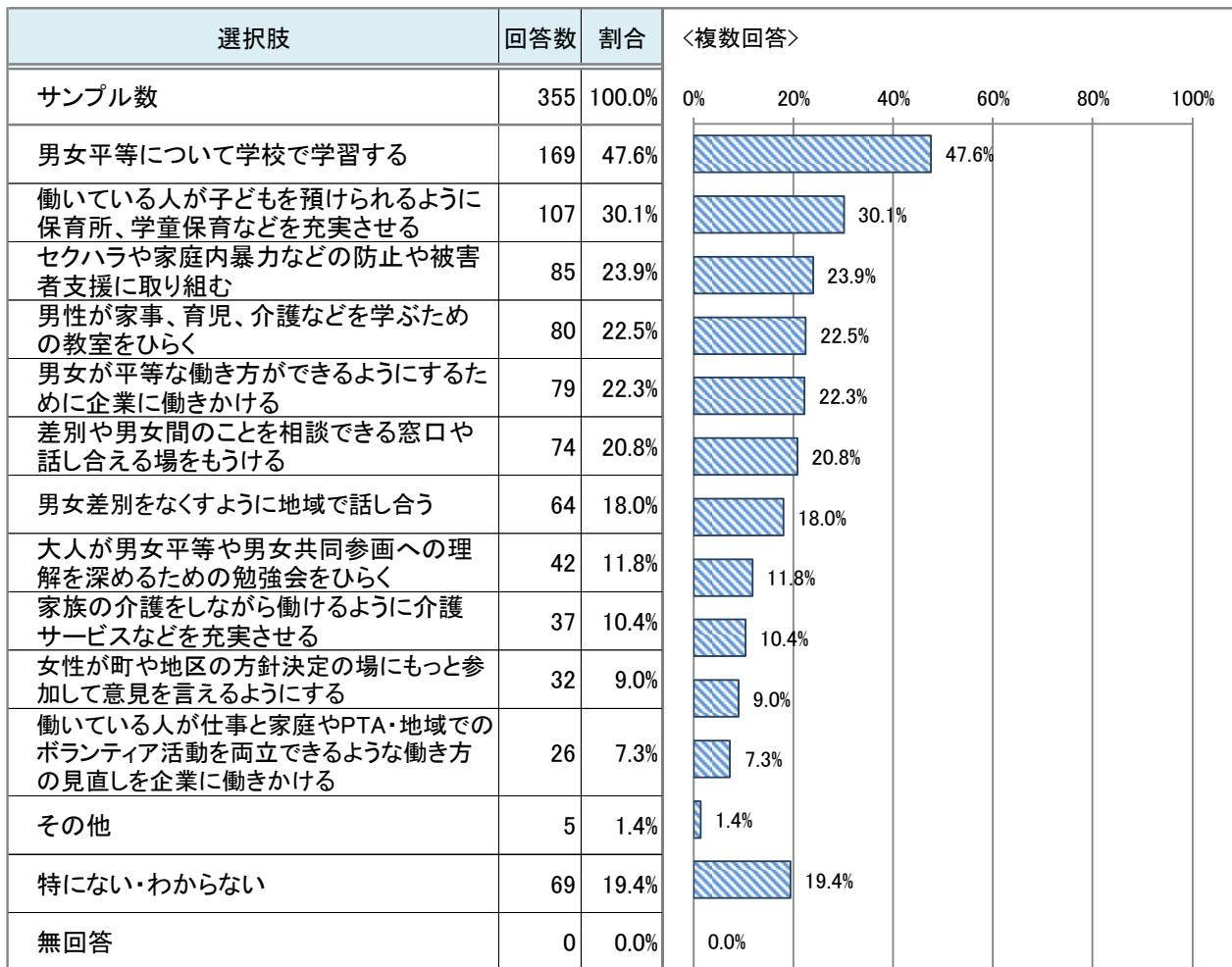
	単純集計	性別		学校段階別			
		全般	女性	男性	あてはまらない	中学生	高校生
		27	16	8	3	24	3
サンプル数		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
いる(ある)		5	3	1	1	5	0
	18.5%	18.8%	12.5%	33.3%	20.8%	0.0%	
いる(ある)が、他の誰か（どこか）にも相談したい		6	2	2	2	6	0
	22.2%	12.5%	25.0%	66.7%	25.0%	0.0%	
いない（ない）が、誰か（どこか）に相談したい		4	3	1	0	4	0
	14.8%	18.8%	12.5%	0.0%	16.7%	0.0%	
いない（ない）し、誰か（どこか）に相談したくはない		12	8	4	0	9	3
	44.4%	50.0%	50.0%	0.0%	37.5%	100.0%	
無回答		0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

6 屋久島町の男女共同参画について

男だから女だからと決めつけないで、誰もがその人らしく個性や能力を發揮すること

問21 ができる「男女共同参画社会」を実現するために、今後、屋久島町はどのようなことに力を入れて取り組むとよいと思いますか。(3つまで選択)

「男女平等について学校で学習する」が47.6%と最も高く、次いで「働いている人が子どもを預けられるように保育所、学童保育などを充実させる」が30.1%、「セクハラや家庭内暴力などの防止や被害者支援に取り組む」が23.9%となっています。



	単純集計	性別		学校段階別		
		全体	女性	男性	あてはまらない	中学生
サンプル数	355	172	179	4	270	85
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
男女平等について学校で学習する	169	75	92	2	135	34
	47.6%	43.6%	51.4%	50.0%	50.0%	40.0%
大人が男女平等や男女共同参画への理解を深めるための勉強会をひらく	42	26	16	0	30	12
	11.8%	15.1%	8.9%	0.0%	11.1%	14.1%
男性が家事、育児、介護などを学ぶための教室をひらく	80	42	37	1	57	23
	22.5%	24.4%	20.7%	25.0%	21.1%	27.1%
差別や男女間のことを相談できる窓口や話し合える場をもうける	74	41	31	2	59	15
	20.8%	23.8%	17.3%	50.0%	21.9%	17.6%
男女が平等な働き方ができるようにするために企業に働きかける	79	44	35	0	59	20
	22.3%	25.6%	19.6%	0.0%	21.9%	23.5%
男女差別をなくすように地域で話し合う	64	29	34	1	56	8
	18.0%	16.9%	19.0%	25.0%	20.7%	9.4%
働いている人が仕事と家庭やPTA・地域でのボランティア活動を両立できるような働き方の見直しを企業に働きかける	26	14	12	0	14	12
	7.3%	8.1%	6.7%	0.0%	5.2%	14.1%
セクハラや家庭内暴力などの防止や被害者支援に取り組む	85	46	38	1	59	26
	23.9%	26.7%	21.2%	25.0%	21.9%	30.6%
女性が町や地区の方針決定の場にもっと参加して意見を言えるようにする	32	17	15	0	26	6
	9.0%	9.9%	8.4%	0.0%	9.6%	7.1%
働いている人が子どもを預けられるように保育所、学童保育などを充実させる	107	68	38	1	73	34
	30.1%	39.5%	21.2%	25.0%	27.0%	40.0%
家族の介護をしながら働くように介護サービスなどを充実させる	37	26	11	0	24	13
	10.4%	15.1%	6.1%	0.0%	8.9%	15.3%
その他	5	2	2	1	5	0
	1.4%	1.2%	1.1%	25.0%	1.9%	0.0%
特にない・わからない	69	20	48	1	58	11
	19.4%	11.6%	26.8%	25.0%	21.5%	12.9%
無回答	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	単純集計	性別 × 学校段階別					
		全体	中学女子	中学男子	高校女子	高校男子	その他・無回答
サンプル数	355	132	134	40	45	4	100.0%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
男女平等について学校で学習する	169	62	71	13	21	2	47.6%
	47.6%	47.0%	53.0%	32.5%	46.7%	50.0%	
大人が男女平等や男女共同参画への理解を深めるための勉強会をひらく	42	19	11	7	5	0	11.8%
	11.8%	14.4%	8.2%	17.5%	11.1%	0.0%	
男性が家事、育児、介護などを学ぶための教室をひらく	80	31	25	11	12	1	22.5%
	22.5%	23.5%	18.7%	27.5%	26.7%	25.0%	
差別や男女間のことを相談できる窓口や話し合える場をもうける	74	34	23	7	8	2	20.8%
	20.8%	25.8%	17.2%	17.5%	17.8%	50.0%	
男女が平等な働き方ができるようにするために企業に働きかける	79	37	22	7	13	0	22.3%
	22.3%	28.0%	16.4%	17.5%	28.9%	0.0%	
男女差別をなくすように地域で話し合う	64	25	30	4	4	1	18.0%
	18.0%	18.9%	22.4%	10.0%	8.9%	25.0%	
働いている人が仕事と家庭やPTA・地域でのボランティア活動を両立できるような働き方の見直しを企業に働きかける	26	8	6	6	6	0	7.3%
	7.3%	6.1%	4.5%	15.0%	13.3%	0.0%	
セクハラや家庭内暴力などの防止や被害者支援に取り組む	85	32	26	14	12	1	23.9%
	23.9%	24.2%	19.4%	35.0%	26.7%	25.0%	
女性が町や地区の方針決定の場にもっと参加して意見を言えるようにする	32	14	12	3	3	0	9.0%
	9.0%	10.6%	9.0%	7.5%	6.7%	0.0%	
働いている人が子どもを預けられるように保育所、学童保育などを充実させる	107	45	27	23	11	1	30.1%
	30.1%	34.1%	20.1%	57.5%	24.4%	25.0%	
家族の介護をしながら働くように介護サービスなどを充実させる	37	17	7	9	4	0	10.4%
	10.4%	12.9%	5.2%	22.5%	8.9%	0.0%	
その他	5	2	2	0	0	1	1.4%
	1.4%	1.5%	1.5%	0.0%	0.0%	25.0%	
特にない・わからない	69	18	39	2	9	1	19.4%
	19.4%	13.6%	29.1%	5.0%	20.0%	25.0%	
無回答	0	0	0	0	0	0	0.0%
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

■ その他の内容

- ◇ 学校の校則
- ◇ つらいときに相談できる場所づくり
- ◇ 女性の地位が低いという意識の改革
- ◇ 更衣室を分けたりトイレを作るなど

最後に、家庭や学校、社会の中で感じている男女の役割や生活、生き方など、男女共
問22 同参画に関することについて、意見や要望がありましたら、何でも自由に記入してく
ださい。

【女子】

- ◇ 子供は男女平等について肯定的な考えを持っている一方で、大人が抵抗感を持っていることが子
供の可能性の幅を狭めていると感じる。大人の男女平等についての理解を深めてほしい
- ◇ 男女平等を呼び掛けているのに、矛盾するような指導（男性に力仕事をさせる等）が学校で行わ
れているので、矛盾するようならやめたほうがいいし、矛盾するようなことをしないでほしい
- ◇ 男女共同参画に触れる機会を一回で済ませるのではなく、何回も触れる機会を設けて屋久島に住
む人が協力し合える町になってほしい
- ◇ 家庭では、男性も家事・育児が、女性も仕事ができるようにして、性別で家事や仕事分担をする
ことをなくすような取組があればよい
- ◇ 男だから、女だからという固定概念をもつ昭和・平成生まれの人が多すぎるのでしっかりと LGBTQ
について理解してほしい
- ◇ みんなが生きやすい社会にするにはみんなが意識しないといけないと感じる。悩む人が少しでも
少なくなってほしい
- ◇ 制服を男子はスカート女子はズボンを着ていいなら、髪型に関する校則も男子も長髪OKにした
ほうがいいと思う
- ◇ 男性でも女性でも好きなようにやればいいし、そもそも男女という言葉をなくしてもいいのではないかと思う
- ◇ 男性、女性といった、性別をきめつけないで誰もが自分の出したい性別を胸を張って出せるよう
にしたい
- ◇ 男性も女性もお互いの性のこと（成長）について知る機会があればいいと思う
- ◇ 自分の個性を活かして働いたり、生きたり、社会に役立つことをする
- ◇ 男女差別をなくして、豊かな屋久島町をつくる
- ◇ 学校の生徒会長が女性
- ◇ 家事 役割分担

【男子】

- ◇男女平等を実現したいのならば、まずは育児に関する補助的な制度の導入と、所得を増やすため税のことに関しても国民が求めているようなことをしてほしい。そうでもしなければ出生率もGDPも国の経済も取り返しのつかないことになりえる。男女平等を実現するためには基盤となるこれらのことをしてほしい
- ◇校内でも交際関係を持つ人たちの間で少し問題などを聞くことがあるため相談できるような環境を整えたり、定期的に相談できる環境を持ったほうがいいと思った（喧嘩や別れ話などでデートDVなどに発展してる例を数回耳にしたため）
- ◇学校などで、着替える場所が男子なら教室女子なら更衣室など着替え姿が見られない更衣室が女子で男子は廊下などたくさん的人が通るので着替え姿が見られる教室で、そこで男女の違いがあると思う
- ◇ほとんどの人が女性の地位向上とか言ってるが、本当は違うと思う。学校など男女共存していく場面においては、女性の方が地位が高い。女性の地位が低いという考え方を改めるべきだと思う
- ◇男女平等と謳っているが女性の社会参画に力を入れすぎていると感じる。そのため男性が家事や育児に参加しにくくなっているのではないかと思う
- ◇私は日常的に不平等と感じたことはあまりないが、女性の方が偏見や差別など多いイメージが強いと感じる
- ◇男女平等もいいがそれをあれこれ言うのもなかなか良いものとは言えない
- ◇男女個々の努力、能力を加味した成果、成績によらない評価の仕方
- ◇無理にこんなことをしないほうがいいと思う
- ◇全員と同じようにして扱う
- ◇差別しないでほしい

【その他・無回答】

- ◇年齢層が高くなるごとに男性優先、ジェンダー反対、理解できない、という人が多くいる。少しでもそのような人たちに分かってもらえるような政策、呼びかけをするべきだと思う。そのような人のせいで傷つく人がいるということも知つてもらいたい
- ◇男女で分けるのがよくないのではないかと感じる